新京日日新聞
夕刊
十一月二十五日

本紙一部五錢 一ヶ月壹圓
定價（郵税一ヶ月拾五錢）
廣告料金（普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢）
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局専用③三二二五 營業局専用③三三〇〇）
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

二虎島、沙灣デルタ 海軍陸戰隊占領
我が損害兵一名負傷

【珠江沙灣水道二十四日發國通】殘敵討伐の海軍部隊は廿四日午前七時鈴木部隊長指揮のもとに〇〇附近に假泊せる軍艦〇〇を出發、同七時廿分〇〇名の陸戰隊は二虎島東南岸に躍り上り直ちに周圍三里餘の同島に討伐陣を展開し同八時早くも二虎島頂上に軍艦旗を飜した、一方山口部隊長の指揮する部落掃蕩部隊は小艇にも双向ふ殘敵を屠つて部落を次々と占領、之また九時には全く掃蕩を終つた、かくして九時半二虎島の討伐を完了、息つく間もなく正午過ぎ敗殘兵の巣食ふ沙灣水道沿岸の討伐を開始し、先づ珠江三角洲の東南端ヒルバツセレヂの突角を一掃した後沙灣水道のデルタに向つた、海軍旗を先頭に部隊がまさに上陸せんとした瞬間バナナ畑の中から敵は猛然攻擊し來り敵彈は蝟集して海風味惡い音をたてる、上陸するや直ちに敵擊滅の陣形を整へた陸戰隊は敵陣目掛け猛擊を開始すれば銀翼の〇〇機がこれに呼應、空から敗敵に機銃掃射を浴びせ交戰一時間餘で敵は火を部落に放つて敗走してしまつた、この戰鬪でわが方は兵一名が負傷した

千五百の敵を擊破 龍潭附近に進出
＝南支派遣軍發表＝

【廣東廿四日發國通】南支派遣軍報道部發表

一、〇〇部隊の從化守備隊は廿一、二兩日に亘り蒸頭墟附近に於て約千五百の敵を擊破し廿二日朝同地北方四キロ龍潭附近に進出せり、敵の損害甚大にして戰死者三百を下らざる見込み、わが損害は輕微なり

一、〇〇部隊の三水守備隊は廿二日午前三水北方地區に討伐中楊梅圩において三水東北八キロの地點及び三水西南四キロ坪口西北に於て夫々約三百の敵と遭遇し、飛行隊の協力を得て同日午後これを北方に擊退せり

一、河南地方討伐中の長野部隊の一部はその主力を以て泉塘を、一部を以て瑞寶を占領せり

各方面概ね平穩にして住民は農業を營みつゝあり

英大使上海歸着

【上海廿四日發國通】カー英大使は廿四日午後三時上海入港のコンテヴェルデ號で歸滬したが、上海外交界はカー大使を迎へて再び活氣を呈することゝならう、英大使今回の旅行中極東の事態は大使の豫測を總て裏切り蔣政府の沒落は今や動かすべからざる客觀的事實となつて現れ、上海の英國租界でも現實の事態に即して速かに在支權益擁護に關する時局の打開を圖るべしとの輿論が相當有力となつて來たが、從來の行懸り上俄かにイーデン式外交の方向轉換を行ふことも出來ず、上海觀察筋ではカー大使の時局打開策は相當の苦衷あらうと察せられてゐる

廣九線沿線の殘敵掃蕩

【石龍廿四日發國通】東江西方地區の大掃蕩戰は着々と進行して敵を南方に壓迫中であるが、最右翼竹下部隊主力は廿四日午前十時早くも虎門北方約一キロの地點に進出、又廣九線南側を南下中の長谷川部隊は同日午前十時北方約二キロの地點を南に向けて猛進中で、一方惠州方面から敵を壓迫しつゝあつた川崎部隊の主力は樟木頭より矛を轉じて廣九鐵道に沿ひ急進擊中である、最右翼乾部隊の主力は廿三日夕刻坪山肝樹近で約五千の敵大部隊と衝突これを擊破し、更に急追中で、敵は至るところに夥しい死體と武器、彈藥を遺棄して南方に四散しつゝあるが、わが方の犧牲は極めて少數である

牙山の附近で敵數百擊破

【石龍廿四日發國通】川崎部隊は廿三日午前十一時惠州西南方約十キロの銅湖西方の牙山附近で敵數百と遭遇これを擊破し南方樟木頭方面に潰走する敵を急追、午後五時に至り樟木頭東北方約四キロ石壁圍石湖の地點に捕捉潰滅的打擊を與へた

北支各地の殘敵掃蕩狀況

【北京廿四日發國通】北支各地における皇軍の肅淸狀況左の如し

一、元泉部隊は廿二日德縣西南方三十キロ亭家口の敵を攻擊、同夜十時半之を占領した、敵兵力總數三千五百亭家口周邊の各部落に堡壘トーチカを構築し、我に向け數回に亘つて逆襲をなし相當頑強な抵抗を續けた、なほ同地の運河を舟十隻で退却中の敵部隊も我機關銃の集中射擊に遭ひ悉く水中に沒した、敵遺棄死體百五十、鹵獲品—馬六十二、小銃五十七、乘用自動車三、手榴彈千五百、わが方損害—戰死五、負傷廿三

一、岡村部隊は同じく德縣西南方東昌附近の牛角店で乘馬二百を混えた約千の匪團を攻擊、廿三日拂曉これを完全に包圍して文字通り潰滅、敵遺棄死體枝隊參謀長及び營長以下八百に上つた

一、小林部隊は廿二日唐山西北方三女河において呂書亭の率ゐる四百三十の匪團の武裝解除を行つた、敵の所有せる兵器小銃百四十一、自動小銃七、彈丸三千

一、焦作（新鄕西方五十キロ）警備隊は廿二日同地東南方において千二百の敵を潰走せしめた、敵の遺棄死體二百、わが方損害戰死二

年賀は虚禮に非ず 從來通り取扱
年賀切手とスタンプは廢止

師走を控へて歲末氣分に一段の慌たゞしさを與へる年賀郵便の取扱については時局柄これを廢止すべしとの意見も一部に擡頭してゐるが、一年の缺禮を帳消しにし義理ある先輩、親しき友に健在を傳へる唯一の方法として缺くべからざる習慣となつて實質上は單なる虚禮でもないので、これが全廢は不必要との考へ方も相當根強く日本遞信省で年賀郵便特別取扱は例年通り行ふ方針なので滿洲國郵政總局でも、年賀郵便による普通郵便物の輻輳緩和のため徒らに掣肘的な方針をとらず、特別取扱は例年同樣實施することになつた、すなはち滿洲國に於ける昨年の年賀郵便の取扱狀況は發信二十萬通、受信六百萬通の多數に上り、本年度は事變の影響により例年の如き增加振りはないとみられるが、北滿討匪工作に從事する皇軍、北、中支に活躍する勇士に送る賀狀は相當數の增加は必然とみられ、從つて若し年賀郵便の特別取扱を實施しない場合は一時に膨脹する郵便物の取扱に支障を生じ年末年始の小包郵便の增加と相俟つて遲延が免れないので滿洲國側では日本側と緊密なる連絡をとり實施することゝなつたものである、なほ時局に即應して新規圖案の年賀切手の發賣、新趣向を凝らした年賀スタンプ（一月一日は從來通り）は使用しないことになつてゐる

簡任文官發令

第一回簡任文官銓衡委員會は寺田、中井ほか一名を議決し廿四日の持廻り國務院會議に上程これを決定、左の如く發令された

奉天第一中學校長 寺田喜治
任編審官、敍簡任二等、民生部教育司勤務を命ず

（豫備役陸軍少將） 中井重雄
任大同學院教官、補大同學院學監、敍簡任二等

代谷大佐等歸京

元駐滿海軍部司令官高須四郎中將見送りのため赴連中であつた海軍駐在武官代谷清志大佐、同補佐官村井貞敏少佐は二十五日午前八時の列車で歸任した

江上部隊の苦心を語る
家門主計中佐來京

今次支那事變勃發直前には軍艦〇〇に乘組み揚子江沿岸邦人救護に任じ開戰後は海軍溯江部隊に參加し上海九江間四百四十浬の江上作戰に赫々たる武勳をたてた家門主計中佐は今回軍艦〇〇に乘艦旅順に碇泊を機とし國都見學のため來京二十五日海軍武官府に於て江上作戰の苦心につき左の如く語つた【寫眞は家門主計中佐】

上海南京間の江上作戰は大して苦心もなく豫定通り進捗し十二月十三日南京入城に參加することが出來たがその後敵は沿岸砲壘の整備江上敷設水雷を增加して我艦艇の溯江を阻止する作戰に出で南京九江間揚子江沿岸は間斷なきまでに新築されたトーチカの連續であり江上は機械水雷で埋まりかてゝ飛行機の空襲等江上作戰の苦心は言語に絕するものがあつた、幸ひ敵は比較的江上戰に不馴れな四川軍が多かつたと見へ浮動する艦艇の照標は悉く外れ命中したものは一つもなかつた、機械水雷の方も我方の江上作戰が遲れることを豫想し減水を見越して敷設したものがその豫想を裏切り進擊が急であつたゝめ減水期に到らずどん／＼進擊するので比較的奏效しなかつたことは天佑であつた、しかし敷設機雷の多いことは掃海艇が一日百個以上引揚げることに於て想像がつくことゝ思ふ、江岸砲壘の堅固なることは豫想以上で空襲にも砲擊にも些かのひるみを見せず最後に肉彈によつて乘取るまで猛射をつゞけるには敵ながら天晴れと驚嘆した、大砲の如きも發射した硝煙が艦上からは少しも見へない裝置がされてゐるので艦砲射擊の照標に苦しんだやうな次第だ、連日頑敵に對し明け暮れ滔々たる濁流をながめて警戒をつゞけてゐる江上部隊の勞苦は到底一般の想像も及ばぬものがあるが皇軍將兵の意氣はいよ／＼旺盛既に重慶、成都を呑む概があつた

人事往來

着京

▲松川嘉男氏（會社員）二十四日來京ヤマトホテル ▲小野元彥氏（同）同 ▲信太一男氏（同）同 ▲山添宣造氏（滿鐵副參事）國都ホテル ▲宮坂謙一郎氏（會社員）同 ▲內山晉次氏（官吏）大和ホテル ▲吉信俊雄氏（同）同 ▲岡久雄氏（商業）同 ▲小野專一氏（會社員）同 ▲長井敏三氏（商業）同 ▲黑田繁太郎氏（同）同 ▲本田榮喜氏（官吏）同 ▲岩元熊雄氏（日本建材協會）同 ▲田村滿夫氏（滿鐵社員）滿蒙ホテル ▲林俊雄氏（會社員）同 ▲新庄金生氏（鑛業）同 ▲山口外二氏（滿鐵社員）同 ▲吉田政太郎氏（同）同 ▲友淸貞男氏（同）同 ▲增田秀夫氏（會社員）同 ▲小倉喜熊氏（同）同 ▲朝倉宇八氏（ゴム會社）同 ▲牧野克己氏（官吏）同 ▲橋本滿藏氏（會社員）同 ▲宮崎綱樹氏（太陽ゴム）ニユーアジアホテル ▲山田兼吉氏（鑛業技師）同 ▲中村誠氏（會社員）同 ▲小野木義夫氏（官吏）同 ▲江上文郎氏（同）同 ▲三浦正二氏（會社員）同 ▲奥平貞信氏（日本エレベーター）三成ホテル ▲中本益洋氏（商業）同 ▲日高爲雄氏（會社員）同 ▲多田正一氏（林業）同 ▲田村長吉氏（官吏）同 ▲港忠次氏（同）同 ▲松岡忠夫氏（同）同 ▲渡邊磯治氏（會社員）同 ▲星村伍次郎氏（同）同 ▲小泉信二郎氏（商業）同

出發

▲福島高麗夫氏 東京へ ▲長峯大吉氏 大連へ ▲片岡秀吉氏 北京へ ▲山岸五平氏 同 ▲增田實氏 哈市へ ▲小林秀雄氏 奉天へ ▲許斐啓介氏 同 ▲土居一郎氏 同 ▲北川清氏 吉林へ ▲佐藤庄一氏 鞍山へ ▲藤島覺氏 延吉へ ▲高田常雄氏 同 ▲秋山軍吉氏 奉天へ ▲草間勝雄氏 牡丹江へ ▲小林峯一氏 哈市へ ▲小田章一氏 奉天へ ▲井澤一助氏 鞍山へ ▲八木實氏 吉林へ ▲倉田彰氏 哈市へ ▲三浦庄之助氏 奉天へ ▲鹽田秀雄氏 同 ▲西田淸三氏 同 ▲香月五郎氏 同 ▲原悅生氏 同 ▲中村三郎氏 大連へ ▲高山博介氏 吉林へ ▲朝日直博氏 奉天へ ▲山本龍之助氏 チチハルへ ▲佐藤勇四郎氏 哈市へ ▲井上右一氏 奉天へ ▲安部勝三郎氏 同 ▲加賀美福太郎氏 京城へ ▲牧野惟一氏 四平街へ ▲森川昇二氏 奉天へ ▲米山辰夫氏 四平街へ ▲並木緑十郎氏 同 ▲富樫直道氏 奉天へ ▲藤形勘二氏 同 ▲淺原源七氏 東京へ ▲安達十九氏 大連へ

日滿支經濟懇談會 東京大會終了
各代表の主なる意見

【東京國通】日滿支經濟懇談會は午後二時半再開、先づ新京商工公會々長丁鑑修氏から爲替管理法の實情に即した運用を希望したのち貿易、交通關係部門の懇談に入り、向井三井物產常務、靑木滿洲國經濟部金融司長、殷臨時政府行政院建設總處長官、田中三菱商事常務、竺維新政府實業部商工司長、闞口蒙疆政府顧問、伊澤滿鐵理事、大谷日本郵船社長、中川東武鐵道取締役並に田鐵道省觀光局長より夫々意見を披瀝、これを以て東京懇談會の全會議豫定を終了、伍堂東京懇談會々長閉會の辭を兼て

今次懇談會は日滿蒙支經濟界首腦の歷史的會合であつたが、各員の道義的觀念を本とする協力により將來における經濟ブロック建設への進路を明示し得たことは欣幸に堪へぬ、今後はこれを礎石として東亞人の東亞建設に一致協力したい

と述べ午後四時四十五分散會出席者一同は同日午後六時より芝紅葉館に開催の賀屋日滿支經濟懇談會委員招待の晩餐會に出席した

【東京國通】廿四日午後の日滿支經濟懇談會における各代表の意見左の通り

向井三井物產常務 日滿蒙支四國間の貿易は機會均等を認容しても他の第三國に斷じて遲れをとる憂ひはない、大體三國貿易に於ては四國間の不必要な競爭の回避が肝要であると思ふ、日滿支ブロックの理想としては將來第三國よりの輸入を不必要とする域に達せねばならぬが、對圓ブロック輸出制限問題の存するに徵しても結局貿易問題は產業の開發指導如何にかゝる問題であり滿地產業の指導、育成が尤も緊要である

靑木滿洲國經濟部金融司長 本年の滿洲國對外貿易は第一に輸出入數量の飛躍的增加、第二に對日貿易特に輸入の增大、第三に輸入品目の更生變化を特徵としてゐる、明十四年度に於ても輸出入とも增加を豫想されてゐるが、之に伴つて生產材の日本依存傾向は更に强化を必至としてゐる、この間第三國貿易においては滿獨貿易協定通貨協定並に日滿伊貿易協定に期待してゐるが、爲替資金計畫を樹立するためにも獨伊以外の第三國に對する大豆の輸出振興は大いに研究を要すべきところで今後その輸出振興策と增產策とは併行して行ふ考へである、又大豆以外にも落花生、蘇子油、豚毛等の輸出は相當の將來性あるものと期待してゐる

殷同臨時政府代表 北支の經濟建設に關聯し對日貿易關係において最も將來性を有するものは棉花である、日本の棉花輸入額年約一千二百萬ピクル、八、九億圓の內北支棉の占める割合は從來非常に少なかつた、しかし北支で棉花增產は充分可能であり將來は少なくとも日本の棉花輸入額の半分は引受けしめてもよいのではないかと思ふ、棉花の生產コストの引下げについては繰綿運送の合理的改良ならびに思惑取締り等についても併せて考慮すべきで、目下研究中である、またブロック經濟統制の結果としてブロック內貿易を重視し第三國との貿易を無視する傾向があり、このため得べかりし資財の一部を失ふに至る、よつて大乘的見地からブロック內で餘つたものは第三國に出す位の襟度がなければならぬ

田中三菱商事常務 日滿支ブロック貿易のやり方は二通りである、その一つは各個がそれ／＼一單位となりその間に緊密な關係を保ちながらも各自第三國と貿易を營む、その二は貿易をブロック內のみでやることである、前者は日滿支を一體として行く建前に反する、二のブロック內で交互に有無相通じそれで出來るだけ資源の開發をやるといふやり方は今の場合最も適當と考へる、しかしこの結果として兎角日本々位になりはしないかといふ心配もあるやうであるが、日本の方針として滿支の利益を犧牲にしてまで日本のためをはかることはない、日本は資力を割き又人を送つたりして滿支の產業開發に努めてゐる

竺維新政府代表 今後四國の貿易は經濟的には國境を撤廢してあたかも一國であるかのやうにして行くべきではなからうか

闞口蒙疆代表 爲替關係から日支間の物資流通に圓滑を缺いでゐるが、これを何とか緩和して行きたい、蒙疆の貿易は昨年は輸出額一億三千萬圓輸入六千萬圓で差引七千萬圓の出超であつた、將來は全支產業の發達によりこの輸出入額も增へることは明かである

伊澤滿鐵理事 鐵道建設の急務なるは滿、支、蒙いづれも同樣である、殊に支那の鐵道建設は急務である、かつて孫文は十萬哩の鐵道建設を發表して遂にならなかつたが、この重大任務こそは吾々の手で完成せねばならぬ、日滿支經濟ブロック結成が絕對に必要となつた現在、日本海の湖水化と同じく支那海の湖水化を實現することも亦絕對に必要である、交通關係者は海陸を問はずブロック內交通の發展に貢獻したいと思ふ

大谷郵船社長 大陸產業の開發に最も必要なものは資金と人材である、日滿蒙支の人材資金を互に有效に活用する事こそ新東亞建設の第一義であらう、四國一體有無相通じ緩急よろしくを得資金の無駄使ひせぬことが目的達成の要締である、支那再建のためには近代的海運事業の創設が必要であるが過去半世紀の歷史を有する招商局の實績に徵するも明白なる如く支那側の經營は日本に比較すれば知識、經驗、技術において遙かに遲れてゐる、支那における近代的海運事業建設の任務は差當り日本側當業者がこれを擔當することが妥當であり、既に當業者は新事態に即應すべき諸般の方策檢討に乘出してゐるからこの點充分諒承して欲しい

中川東武鐵道取締役 鐵道の建設と併行して日滿蒙支にわたる主要道路鋪裝を完成することが目下の急務である、鐵道は滿洲事變以來大發展を遂げ滿洲國の現狀は日本、支那、蒙古とともに之にならふべきものがある、釜山—北京間の直通運轉も既に實現してゐるが、更に二個の直通連絡を漢口—九江その他に延長、四國間の國際貨物並に旅客輸送の圓滑を期することが單に經濟的のみならず思想的、文化的にも東亞ブロックの促進に重大意義を齎すものであることを考へるべきであらう

田鐵道省觀光局長 貿易と觀光とは楯の兩面の關係にある、三國は今後積極的に日滿支觀光ブロックを建設すべきで滿蒙支首腦者においても觀光事業の重要性を切に考慮されたい

その日く

□統一政權樹立の要望南北に起る、大陸の建設は先づ政治から

□明春開くといふ全國代表者大會、直に民意を代表する者をこそと望まう

□日滿支經濟懇談會、少くとも先づ認識を深めたことだけは確か

□知るは行ふの始めなり、ねがはくばさうあつて欲しいもの

□排共の叫びも大いにあげるべし、知らずして畏怖する滿人など無いやうに

撃滅共產黨建設新東洋

防共協定成立二年　排共の狼火擧ぐ　新支那救國反共の聲も和す

日獨伊防共協定成立なつて二ヶ年、日滿の國礎愈よ固く日支事變新段階到達と共に亞細亞の空に東亞諸民族協同體を

目標　とする理想國家が力強く誕生しつゝあるとき、滿洲國四千萬民衆の排共狼火は新生支那各地に擧げられてゐる、救國反共の聲と共に二十五日午後一時國都新京に三度びあげられた排共の嵐を中心に全國は世界共同の敵コミンテルン撃滅の氣勢に沸き返つた、この日國都の空は冷氣滿ちて空には雲一つない快晴である、會場である民族協和の殿堂協和會館は日滿獨伊の四ヶ國旗がへんぽんと高く翻り屋上には「撃滅共產主義、建設新東洋」のアドバルンが浮揚されてゐる、かくて定刻午後一時半より大會開催、豫定の行事に排共の氣勢を爆發、二時十分終つて日滿獨伊各國代表者知名士が第一會議室で交驩會を催し、排共の共同目的に結ばれた各國代表はこゝに終局の目的達成の貫徹を期し

乾杯　萬歲を三唱し、四ヶ國親善を一層高めて午後三時過ぎ終了した

四國々歌を吹奏　力強き排共宣言　會場も割れよと萬歲を叫ぶ

協和會館に於ける排共大會は定刻午後一時三十分より開始された、會場には張會長、植田全權大使代理加藤參事官を始め伊公使ロルテーゼ氏・獨逸公使館參事官ギユールボルン氏の外日滿知名士、ローマ教皇廳、蒙疆委員會、中國臨時政府、蒙古聯盟、維新政府の各代表者が出席、その他協和會員、國防婦人會員約千五百名で會場は身動きならぬ程ぎつしりと埋めつくされて仕舞つた先づ松木首都本部事務長の開會宣言につぎ日本、獨逸、伊太利、滿洲の順で嚴そかな國歌を吹奏し、次で橋本中央本部長式辭を述べ、于首都本部長、恒吉中央本部輔導部長が日滿語で力強く夫々大會宣言を爲し、會長致辭、大日本特命全權大使、獨逸國特命全權公使、伊太利國特命全權公使の祝辭あり終つて、張會長の發聲で大日本帝國天皇陛下萬歲、橋本中央本部長の發聲で獨逸國總統アドルフヒットラー、伊太利國皇帝、エチオピヤ皇帝陛下、並に伊太利國首相ベニトムツソリーニ萬歲を三唱、更に大滿洲帝國皇帝陛下萬歲を三唱、會場も割れよと全員唱和し松木首都本部事務長の閉會宣言に依り午後二時過ぎ大會を終了した

式辭

共產インターナショナルの破壞的侵略に對し、世界の平和と文化とを擁護せんとする日獨防共協定成立して茲に二年、本日其の光輝ある記念日を迎へて排共大會の開催せらるは意義洵に重且大なりと謂ふべし。

惟ふに共產インターナショナルの暴戾なる攪亂行爲は天人共に許さざるところにして其の魔手の及ぶところ人類の光明は地に塗みれ世界は一大鬪爭の修羅場と化せずんば止まず、遠くスペインの內亂に之を見ずとも、隣邦支那四億の同胞は既に久しく其の害毒に襲はれ混亂の巷を彷徨す、洵に同情に堪えざるところにして、一日も速かに容共の迷妄より醒め、萬邦協和の下、相共に興亞の聖業に提携し來らんことは我等衷心の願望なり。今や盟邦皇軍の進撃により赤魔の據點相次て潰え、四億民生の黎明將に近きにあるかを想はしむると雖も、赤色勢力の本據「ソ」聯邦の態度は依然狂暴を續け其の陰險なる手段は東亞の各地深く益々反噬の策動を逞ふす。眞に前途多事なりと謂はざるべからず

此秋に方り、「ソ」聯邦と境を接する我等四千萬滿洲國民の任務は彌々重大にして、一大勇奮以て赤魔の潰滅を期し曩に人類永遠の平和の爲三大强國が協定せる崇高なる目的に向つて協力邁進せざる可らず、恰も日獨防共協定成立二周年又伊國の加入を得て正に一年、我滿洲國亦滿獨、滿伊修好條約確立して防共聖業に實質的參加をなせる今日、東西大强國の結合益々堅く、相應して排共陣營の鞏化を見つゝあるは慶賀に堪えざるところなり、茲に我等排共大會を開催し、相共に協力して人類共同の敵を打倒すべく全力を盡さんことを期す。一言以て式辭となす。

康德五年十一月二十五日
滿洲帝國協和會中央本部長　橋本虎之助

宣言

今や排共の聖火は烈々として全世界を光被し東京、伯林、羅馬、新京、を結ぶ排共陣營愈々固し

茲に我等四千萬國民は道義世界建設の大旆の下に日滿共同防衛の大義に則り人類の敵共產主義を徹底的に潰滅し東亞新秩序建設の聖業に邁進せんことを期す

康德五年十一月二十五日
日獨伊防共協定紀念排共大會

防共の乾杯

大會終つて引續き各國代表者並に日滿知名士約百名は第一會議室に臨み、張會長挨拶につぎ、防共盟國新京居留民代表伊太利公使ゴルテーゼ氏が立つてお祝ひの挨拶を述べ、その都度防共の杯を高くあげて乾杯再び大日本天皇陛下、獨逸國總統アドルフヒツトラー、伊太利國王エチオピヤ皇帝陛下、伊太利國首相ベニト・ムツソリーニ、大滿洲帝國皇帝陛下萬歲を夫々三唱和氣靄々裡に三時閉會した

植田大使の祝辭

日獨防共協定成立二周年の記念日を機とし排共大會を開催せられましたことは現下の國際情勢に鑑み寔に意義深きことでありまして此の大會に列し祝辭を述ぶることを得ましたことは本使の衷心欣幸とするところであります

共產主義排撃の點に於て志を同うする日獨兩國間の防共協定は其の後伊太利の參加に依り一段と其の價値を高め世界外交史上に於て劃期的意義を有するに至り協定成立以來短日月乍ら國際關係の間隙に乘ぜんとする共產黨の策動を排する上に多大の效果を發揮し得たことは御承知の通りであります

最近國際情勢は東に西に益々複雜多岐を加へ其の動向必ずしも豫測を許さゞるものがあります此の時に當り防共協定締結國たるもの愈々其の結束を堅くし世界の正しき進路を阻害し其の健全なる文化正常なる秩序を破壞せんと企つるものを排除し明朗にして恒久性ある平和狀態の確立を期し人類幸福の不動の基礎を築くことにあるので一層の努力を致すべき責務を有するものと信じます

今や日本帝國は東亞新秩序建設の爲曠古の聖戰に從事して居り滿洲國亦日滿一體の本義に則り產業開發に物資動員に共同防衛の責務遂行に向つて全力を傾注して居るのでありますが時局の前途益々遼遠を告ぐるの際日滿兩國官民たるもの一層堅忍持久の覺悟を望むべきであると信じますと同時に獨伊兩國が今次聖戰の目的を十分に理解し多大の精神的援助を寄せられて居ることに對しましては此の際特に感謝の念を新にする次第であります

茲に防共協定成立記念排共大會に臨み聊か所感の一端を述べて祝辭とする次第であります

演藝放送新人　廿六名詮衡決定　肥後敦子さんは三度目

新京中央放送局がローカルプロの編成を目指して曩に本社後援のもとに實施した本年度の演藝放送新人募集は廿一、廿二、廿三日の三日間新京放送局に於いて新京音樂協會　大塚淳氏、錦ヶ丘高等女學校　岩田達雄氏、新京中學校　細田透氏、敷島高等女學校　網代榮三氏、新京商業學校　泉隆志氏、新京和樂舞踊協會　杵屋十七郎師、同　杵屋勢七郎師、新京和樂舞踊協會　井上超童師、同　泉旭春師、同　田村小初師、同　常磐津三春太夫師、新京中央放送局長　道滿謹吾、同放送課長　山田德三郎、同第一放送主任　岡田敏郎、同演藝主任　小川弘道　等によつて銓衡し左の人々が當選した、肥後敦子さんは三回、岡本幸夫氏、千葉靜翠氏は各二回の當選である

▲歌謠曲　中井てる子さん、澤田等氏、細井勇氏、徐正潤氏▲義太夫　松葉ヒサコさん、弓岡千壽氏▲清元　開花、久松さん、同、妻一さん▲小唄　田島正行氏、北村篤三氏▲俗曲　高島勞津子さん▲俚謠　杉山八重子さん、上田繁子さん▲琵琶　岡本幸夫氏、針生久之助氏、鈴木旭丈さん▲掛合漫談　井口利々氏、高島勞津子さん▲詩吟　千葉靜翠氏、最上禮次郎氏、北清島氏、佐藤美靜氏、後藤英夫氏、田崎隆氏　以上廿六名

猶、當選者に對しては放送實施打合せの爲め近日中に當局から日時を御通知申上げますから其の折りは放送局まで御足勞を願ひたいと

國婦分會長會議

滿洲國防婦人會では本年四月三日成立以來順調な進步を續けて來たが、益々その整備擴充を圖らんとしてその爲には會の進まんとする所をはつきり全會員に知つて貰ひたいと總本部より全滿各地に對して指導員を派遣して一地方區域毎に分會長會議を開催して來たが、その殿を承つて新京地區分會長會議は二十五日午前十時より國防會館で開催、新京地方の分會長役員を始め午前中は在京會員も出席して磯谷會長事務取扱より會の今後進まんとする道についての挨拶を聽き、午後からは役員のみで種々協議を續けた

曙町の火事

二十四日午後十一時十分頃市內曙町二丁目十八番地煖房商竹山商會新京支店裏の同店々員揚風淸方の小屋から發火、木造建の爲一棟一戶を全燒して同四十分鎭火した、家人は何れも友人宅へ遊びに行つてゐた留守中の出火で原因は取調中なるもストーヴの不始末からゝしく損害約八百圓である

出札係假痘

新京驛出札係菊水寮居住橋本政雄（二二）は數日來病臥中であつたが、二十五日滿鐵醫院で假痘と診斷され隔離の上詳細診斷中であるが衞生隊の手で菊水寮及び驛出札室は消毒を行つた

長期建設講座　四

長期戰下銃後國民の認識と覺悟を促すM・T・C・Yの長期建設講座第二講小林關東軍報道班長の「長期建設と陸軍々備」と題する講演は廿四日午後七時卅分から廿分間にわたつて新京中央放送局から全滿に放送されたが、講演內容左の如し

長期建設と陸軍々備（上）　戰はこれから

關東軍報道班長　陸軍步兵大佐　小林隆

□

先般日滿兩國々民待望の裡に武漢三鎭が陷落したことはまことに御同慶に堪へないところである、勿論これは御稜威の然らしむるところであるがまた忠勇なる皇軍將士の奮鬪と、熱誠なる銃後國民の一致した力であることは今更申すまでもない、さて支那事變勃發以來の經過を回顧すると、今迄に三つの大きな軍事上の段階を經て今日に至つてゐる即ち昨年の十二月における南京の陷落と、本年五月における徐州の大殲滅戰と、次で今回の武漢及び廣東の攻略とである、支那の首都たる南京が陷落しても未だ戰は終結を告げず、事變は愈々擴大してゐたのである、徐州の大會戰を迎へたのである、當時國民の中には徐州の戰鬪が終つたらもう日本軍は進撃しないだらう、蔣介石も再起不能になるであらうなどと考へてゐた人もあつたやうであるが、戰局は好むと好まざるとに拘らずどん〳〵進展し廣東、次で武漢三鎭攻略となり今尙戰線は擴大されてゐる斯くの如く三つの段階を經て今日に及んだが、今回の武漢及び廣東の陷落によつて蔣介石政權は名實共に一地方政權に沒落してしまつたことは先般の日本政府の聲明にもある通りであつて、萬人齊しく認むるところである、この結果支那は日本の占領地域と、一地方政權たる蔣介石が餘命を續けてゐる西南方地域と、支那の西北地區即ち赤化地區とこの三つの地區に分割されたのであつて、かゝる情勢における蔣介石政權の今後の動向を檢討して見るに勿論今更彼が長期抵抗を斷念するとは考へられない

□

然らば蔣介石政權が今後なほ抗戰を續ける力があるか否かは、武漢、廣東の攻略において支那軍は日本軍のために約四十萬の損害を蒙つてゐるがなほ約百萬に近い兵力が殘つてをり、蔣介石直系の軍隊だけでも五十萬はあり、その抗戰力はなほ相當あるものといはねばならない、それに加へて蔣介石は今後西南地區の民衆を武裝させて兵力の增加をはかることは當然でこれらの支那軍に對して「止め」を刺す事は今後なほ相當の努力を要する、現に武漢が陷落してホッとする間もなく去る十一日皇軍は漢口の上流二百七十キロの岳陽に突入、これを占領してゐる、一方西北地區に根據を有する共產軍は、依然蔣介石を支援して長期抵抗を行はしめ、日本の國力消耗をはかると共に、蔣介石の疲弊するに從ひ支那の全面的赤化をはかることを策してゐることは疑ひのないところである、これがため日本占領地域に對するゲリラ戰術及び民衆赤化工作をますます强化することゝ思はれる、現在共產軍の兵力は山西、陝西兩省を中心とする第八路軍の約十四萬と揚子江下流地域を中心とし南京、上海方面に手を伸してゐる新編第四軍の約五萬及び共產軍約六萬、總計廿五萬でこのほかに日本の占領地域內には約廿萬の抗日匪賊や敗殘兵が蠢動してゐる、かういふ狀態であるから今後日本軍は蔣介石政權潰滅のためあくまで進撃を續けると共に占領地域內の治安確保のために依然軍事行動を續けねばならない、占領地域が擴大すればするほど軍事行動は六ヶ敷くなり、兵力もますます餘計必要になつてくる、世間には武漢陷落と共に戰爭は一段落となり、出征將兵も逐次內地に凱旋するであらうなど考へてゐる人があるが、これは大なる認識不足であるといはざるを得ない、抑々今次事變は支那のみが相手ではない、支那の背後にはこれを操る黑幕がある、蔣介石はこの黑幕〝第三國〟の援助に依賴し、これら第三國が何時かは日本に對し干涉壓迫を加ふることを期待してゐるので、蔣介石がこれほど日本軍のために打ちのめされてもなほ抗戰を止めない理由は實にこゝにある

訂正

二十五日附朝刊七面本大會委員談は于大會委員談につき訂正す

維新政府代表來社

中華民國維新政府代表として滿洲國との間に通商交換に關する公文を交換した同政府外交部參事劉家倫、同秘書洪斌の兩氏は二十五日外務局事務官吳曾澤氏の案內で挨拶に來社

今晚の主なる放送

▲七・三〇國歌君が代（日本より）日本放送交響樂團▲七・五〇獨逸國歌（獨逸より）▲八・二〇伊太利國歌（伊太利より）▲八・三〇時局演藝「わが家の燈」（東京）林寬外▲八・四〇ラヂオコント「軍馬に捧ぐ」（東京）ダン道子外

ハリウッド・ショウ
けふからの豐劇

豐樂劇場廿五日よりの番組は豐樂路入口改增築記念興行としてステエヂアトラクション「ハリウッド・ショウ」に左記松竹、東寶二番線を配した盛り澤山な配列である

▽松竹大船「純情夫人」上原謙の若き社長を中に關秀人、友人文士、社長の古い女友達などが絡んで描き出す家庭生活の機微、夏川大二郎、川崎弘子、桑野通子の四スター顔合せ、荒田正男のシナリオにより佐々木啓祐が監督に當つた

▽東寶東京「四つ葉のクローバー」霧立のぼる、堤眞佐子、江戸川蘭子、佐伯秀男主演、岡田敬の演出になる少女向き作品、巣立ちゆく女學生達が社會の現實とぶつゝかつて何を體驗したか

山岳記錄映畫「至誠拔山」完成

滿洲最高の山岳道路として去る七日竣工式を擧行した本溪縣一三六〇高地警備道路の工事過程を記錄した奉天省土木廳製作の十六ミリ映畫「至誠拔山」は廿二日完成、廿三日午後三時から奉天省公署において試寫會を開催した、同映畫は全長九百呎、省公署囑託カノオ映畫研究所長嘉納惠一郎氏の力作で觀覽後寫眞をみたゞけでも寒いと別宮次長が大滿悅で語つたほど實感が溢れた記錄映畫だ、なほ同映畫は近く新京において治安部、交通部などで映寫する

寶塚少女歌劇 伯林で大好評

【ベルリン廿三日發國通】訪獨伊振袖親善使節寶塚少女歌劇一行は廿日以來當地民樂劇場において公演、大好評を博してゐるが公演第三日の廿三日は大島大使、ゲッベルス宣傳相共同主催で社會事業後援のため特別公演が催された、前日に劣らず超滿員の盛況で在留日本人多數及びドイツ劇場協會幹部連の顔も見え大成功を收めた、宣傳相は都合により出席出來なかつたがその代り大花輪が贈られ當夜の成功を飾つた、當日の收益は擧げて冬季救濟事業のため寄附される筈

"百萬圓貰つたら"着手

「處女的樂園」のロケ出發一日前で、降雪結氷の爲め撮影延期になつた上野組は、新企畫になる「百萬圓貰つたら」(假題)に一役買つて「處女的樂園」に續けて着手する模樣である、猶この映畫は左の如き内容を持つものであるが脚色は荒牧芳郎、公島德衛、長谷川濬、中村能行、岡齋與一が擔當し、鈴木重吉、上野眞嗣、山内英三、津田不二夫等分割演出に當る事になり、キヤメラは大森伊八、藤井春美の擔當である、キャストは近日脚本脱稿次第確定の筈である

或る時、天の雲の上で、財神と貧乏神がバッタリ逢つた、此二人は下界のどこで誰が何をしてゐるかチャンと解るんであるが、未來の事はチットモ解らない可笑しな神樣である、貧乏神と財神は金を持つてると、持つてゐないで名前が違ふ丈けで、名前に依つて各自責任上仕事をしてゐると云つた餘り神通力のない神樣だつたものだから「金」の持つ力と不可思議な魅力に就いて、とう／＼議論を始めて了つた、結局貧乏神に恩惠を被つてゐる大勢の貧しい人間共の中から五人選拔して實驗材料に供しつ色々反應を研究して見る事になつた、實驗材料になつた人間こそ、いゝ面の皮だが、果してどんな人間に金が與へられ、どんな反應を生じるだらうか?…二人の神はこの時ばかり仲良く人類を並べて、古めかしい望遠鏡で、ドカンと金を貰つた人間共を、どこまでも追つて行く

▽▽奴銀平△△

松竹京都作品、〆曾根辰夫の「菩薩の眉」に次ぐ監督作品で、藤井滋司、柳川眞一のシナリオにより川浪良太郎が主演する、四國丸龜五萬石京極家の先君十三回忌法要の際、その奉行役に任命された小身ながら忠節を以つて聞える織甚左衛門が同じく奉行役を狙ひながら目的を得なかつた納戸役榊原のために計られて割腹する、主人思ひの奴銀平、これを知つて單身榊原家に斬込み美事報復は成るのであるが己は身を犧牲にして若主人のために出世の道を讓る――といふ忠節を描いた一篇、堀正夫、山路義人、關操、中村政太郎、結城一朗、風間宗六、尾上多見太郎、毛利峰子、柳さく子助演、長春座廿七日封切

サボテン

性的魅力を昔はイットと云つて若い僕等には朗らかな形容詞として使はれたもんだよと云へば▼亞細亞會館の薫さんはマアそんなの古くさい、今はねイット、イズ、ア、ドックぢやないの、なるほど、なるほど犬かねウヱッーカ犬は邊り構はんからね、マアいやらしいこの人、妾顔負けするワ、さすがに東京銀座紫烟莊で花を競つただけある【寫眞がその人】▼藝者らしい藝者としては新京一だらうと玄人筋から折紙をつけられてゐる開花のツマカヅ姐さん、數年前に新京で働らき、凱旋してから二度の左褄だけに最近のお稽古振りは相當なもの、近く新京放送局の新人としてマイクに見えることになつてゐるそうだが、建國直後に新京にゐた頃に較べると指頭の皮が厚く(固いほどにね)なつてゐるのと、額に皺が出來たのが目立つてゐる、どんな浮世の苦勞をしたかはどうぞ本人から聞いて下さい▼こゝのテル葉姐さん、何か言ふとすぐ笑ふが、大抵の人が笑ふときは下に向くが、この人は上に向いて然も聲高らかに笑ふ、すると鼻よりも額よりも齒が出てくる▼或るお客「君それはデルハではないのか」と、ナール程

雜音

帝都キネマの「第九交響樂」と「哈響」の演奏は高級ファン向きの好企畫として確かに近頃みない良心的なものであつた▼「哈響」の演奏は三日間とも通俗曲を五つ並べた約一時間に亘るもの、大ものが取り上げてないだけに充分に本領を發揮したとは言へないが、何れも手馴れた演奏ぶりを見せ、映畫とよく均衡をとらへてゐたあたり、プログラム演出の上にも效果を齎したと言へる、然も一日三曲目は毎日變更といふ勉強ぶりには大いに好意が寄せられた▼廿六日からは「哈響」のかはりに東寶「虹立つ丘」が入り料金が下るが、初日より三日間の入りは團體の鑑賞などあり平均した賑ひを見せた

晝夜用心記（二六）

三村仲太郎・作　木下大雍・畫

淺き夢（三）

『暗いぢやないか……また、馬鹿に陰氣な部屋ぢやないか……』

伴助は。かういつて、片隅の行燈に、灯を入れかける

『いけないよ、伴さん……』

おそめは、不意に、その伴助を遮るやうに、かう言つた

『この儘にして置いておくれよ……暗い方がいゝんだよ』

『だつて、お前、俺ア、不自由で仕方がねエ……暗闇の中の牛つていふが、これぢやア譬も何も出來たもんぢやねえ……』

『ふん、厄介な眼玉だねエ…妾には、これで何もかにも、見えてるんだよ』

『何……氣味の惡いことを言ふな……』

『だつてさ……それ、お前さんの手許だよ……左の手許のところに、附木が轉がつてゐるぢやないか……』

伴助は、行燈に、灯を入れる。

それでも、おそめの言ふ通り、行燈を片隅に押しやるさ、上から、女の着物をかぶせた……

川を流れる舟の中から、うつかりするさ、誰に見られないものでもなかつた……夏の夜だけに、その懸念があつた

『お前、身體は大丈夫か……こいつは一寸手荒すぎるぜ……なアに、酒はいくら飲んでも構はねェが――』

伴助は、おそめの前の荒れ果てた光景を見るさ、いさゝか、膽を冷したやうにかう言つた。

『なアに伴さん、大丈夫だよ……妾は、お前さんにはお禮するつもりなんだから……』

おそめは、伴助の氣持を見拔いてゐるやうに、ずばりさかういふのだつた。

『おい、おそめ……お前、何をいふんだ。俺は、そんなことをいつてるんぢやアねえ……そりやア階下のお米が、お前に何をいつたか知らねエが――』

伴助は、聲を落して、かういつてから……おそめの氣持を窺ふやうに、じつさ見つめたのであつた。

五間堀横町の長屋で、おそめの親父の作兵衛が、非業な死に方をした雨の夜、おそめは降近の川に身を投げて死ぬるつもりでゐたところを、伴助が中洲の清吉の家に連れて來たのであつた。

おそめの親父の作兵衛は、大工であつたが、その本職の方は投げやりにして、殆ど博奕と酒で日を送つてゐる始末であつた。

かういふ種類の人間にありがちな、その日暮しの野方圖な、だらしのらい男であつたが、性質は人のよい方であつた。

作兵衛が足腰の利かない病氣になつて、どつかりさ腰つくやうになつてから、おそめは、いろ／＼さ女衒の伴助に世話になるやうになつた……

……ぬ、えよりも化鳥の多い吉田町。川柳にもうたはれてゐる本所吉田町の夜の化粧の女達よりも、もつさ氣の利いた方であつたが……氣が利くの、利かぬのさいつたところで、所詮は、五十歩百歩……いづれは苦界の、うそ寒きその日暮しの譬である……

かういふ生活の中に、おそめは淡くさも、伴助を頼もしい男さ思ひ出してゐたことは事實であつた。

伴助も、そのおそめの氣持を知つてゐればこそ、その夜無理矢理にこの二階に連れて來たのであつた。

が、然し、今……伴助の目に、容易ならざるおそめが、映り出したのである。

多少、野ざらしに、荒てゐるさはいへ、所詮は、小鳥である……バタ／＼したところで、羽交をしめれば、暖かい胸毛に、動悸がうつ……さ思つてゐたら、間違ひだつた。

伴助の方が、たぢ／＼さ喰はれるほどに、おそめは、鋭かつた。

『ねエ伴さん……妾も、かうしてゐるのは窮屈だし、少し稼がうかさ思ふんだが――』

これが小娘上りの、おそめの言ふことか――

商況欄 前場

海外經濟電報

倫敦金塊 [illegible]
紐育金塊 休會
倫敦銀塊 二〇片一六分一
同先物 一九片一六分九
紐育銀塊 休會
需買銀塊 休會

市俄古小麥

十二月限 / 五月限 / 七月限 感謝祭休會

紐育棉花

現物 / 十二月限 / 一月限 / 三月限 / 五月限 / 七月限 / 九月限 感謝祭休會

印棉

ブローチ / ベムラ / ベンゴール 感謝祭休

カルカツタ麻袋

一二三留比[illegible]分二

紐育株式

鐵鋼 / 銅 感謝祭休會
スチール株 / アナゴンダ株 感謝祭休會

外國爲替

米英爲替 / 米日爲替 / 米佛爲替 / 米麥爲替 / 英米爲替 / 英日爲替 / 英佛爲替 / 英麥爲替 / 印日爲替 感謝祭休會

滿洲中銀爲替

紐育向 / 倫敦向 [illegible]

阪神爲替

對米賣買 / 對英賣買 [illegible]

各地株式市況

東京株式（短期）

寄付 / 大引
新東 / 大新 / 鐘紡 / 新帝 / 洋紡 / 日郵 / 新船 / 同新 / 日石 / 日立 / 満業 / 日工 / 電業 / 東電 / 日鐵 / 糖新 / 日曹 [illegible]

大阪株式（短期）

大新 / 東新 / 鐘紡 / 日紡 / 日業 / 日曹 [illegible]

大連株式（短期）

五品 / 東新 / 満業 / 同新 / 鐘紡 / 満鐵 / 士木 / 豆新 / 大丁 [illegible]

各地商品市況

大阪綿糸

十二月限 [illegible]

大阪綿布

十二月限 / 一月限 / 二月限 / 三月限 [illegible]

東京人絹

當限 / 先限 [illegible]

大阪棉花

十一月限 / 十二月限 / 一月限 / 二月限 / 三月限 / 四月限 / 五月限 [illegible]

大阪期米

當限 / 中限 / 先限 [illegible]

大阪人絹

十一月限 / 十二月限 / 一月限 / 二月限 / 三月限 [illegible]

横濱生糸

現物 / 當限 / 先限 [illegible]

各地特産市況

新京

豆粕 現物 / 十二月限 / 一月限 寄付 / 引 [illegible]

大連

豆粕 十一月限 / 十二月限 / 一月限 出來 不申 [illegible]
袋入 十一月限 / 十二月限 / 一月限 / 二月限 / 三月限 [illegible]
豆粕 現物 / 十一月限 / 十二月限 / 一月限 / 二月限 / 三月限 / 四月限 [illegible]
豆油 現物 / 十二月限 / 一月限 / 二月限 / 三月限 / 四月限 [illegible]

九星

土曜 壬戌 友引 閉 胃宿　舊十一月五日　月出 / 日入

●一白の人 新しき事に手を出す時は後日悔ゆる事あり 乙と庚と戌が吉
●二黑の人 巧みなるより拙き方が未來の勝はあるべし 卯と壬と丑が吉
●三碧の人 難み多き行先も時節を待てば開け來るべし 甲と庚と辛が吉
●四綠の人 外に出ては口舌を愼み世話事は目上に讓れ 乙と巳と庚が吉
●五黃の人 心に油斷なければ邪魔も付け入るに道なし 丙と丁と壬が吉
●六白の人 投機には失敗文陸上の事には成功大吉の日 丁と未と壬が吉
●七赤の人 小故はありと雖も本業は順調に行くべき日 未と癸と丑が吉
●八白の人 内に多少の行違ひありとも大體順調に運ぶ 乙と丙と未が吉
●九紫の人 和合さへ固守すれば無二の吉日と成るべし 庚と辛と戌が吉

京東・本郷・神誠館

新京日日新聞
朝刊
本紙朝夕刊十二頁
定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

五十萬市民の輿望擔ひ 雄々しき發足へ きのふ盛大な發會式

【漢口二十五日發國通】再生大武漢の建設を圖るべく五十萬市民の要望に應へて創立された武漢治安維持會の發會式は廿五日午前十一時より特別三區舊漢口商業銀行樓上に於いて盛大に擧行された、五色旗又び日章旗に飾られた階上には治安維持會役員を初め武昌、漢陽兩治維會々長就任內定の楊、張兩氏、支那各界代表者數百名、日本側よりは軍關係者、花輪總領事等列席、先づ五色旗の揭揚式を行つた後同治維會成立經過報告について計國楨會長、楊大鑿副會長の推戴式、計會長の力強き挨拶並びに別項の如き宣言の朗讀があり更に森岡特務部長の式辭、計會長の答辭があつてのち來賓として畑中支軍最高指揮官(代理)、左近司海軍特務部長、花輪總領事等の祝辭あつて盛會裡に式を終りこゝに大武漢再建の重要使命を擔ふ武漢治安維持會は正式に成立し雄々しくその第一歩を踏出すに至つた

皇軍突入一ケ月目 武漢に治安維持會

成立宣言發表(要旨)

【漢口廿五日發國通】武漢治安維持會の成立宣言要旨左の如し

蔣政府が聯ソ容共政策により輕々しく戰火を開き國民は一日として寧日なく官吏は唯上司の鼻息を窺ひ民苦を察せず民の膏血を搾るに汲々として庶民塗炭に苦しむ、今次兵火の後殆んど廢墟と化しその荒寥たる樣見るに忍びず、就中湖南、湖北に流散せる者は着るに衣なく喰ふに食なく病みて醫者なく死して葬り得ざるを歎く、之何人の爲せる所ぞ我等はこの時艱に直面坐視する能はず、茲に同憂人士を集め武漢治安維持會を組織し直ちに社會秩序を回復し以て同文同種の國と共存共榮の政策を實行し日支親善を計り東亞の和平を確立せんとす、茲に我等は民衆をして各々その處に安んじその業に就かしめその生活を保證し一面外國權益に至つては充分これを保證せんとするものなることを宣言す

周邊の諸都市にも 續々治維會結成準備

【漢口廿五日發國通】敵が保衛大武漢の標語をかざしてあくまで死守した武漢の地には皇軍占領後一ヶ月にして早くも治安維持會が結成され更生大武漢の建設に乘り出したがその他の都市においても自主的に治安維持會が結成され打倒蔣政權、中日親善を標榜して新支那の建設に協力せんとしてをり、その機運は澎湃として武漢周邊の諸都市を蔽つてゐる、すなはち武漢治安維持會の傘下にある武昌及び漢陽では既報の如く治安維持會々長はすでに內定、目下陣容の整備を急いでをり、近日盛大なる發會式を擧行する段取りとなつてゐるが、一方漢口西方漢水沿岸の繫馬口、蔡甸漢川等の諸都市においても着々治安維持會の組織が進められ、これまた遠からず成立式を擧行する運びとなつてゐるかくて皇軍占領地域の支那民衆は續々起上つて反蔣救國中日提携に邁進し中支一帶は日一日と明朗化しつゝある

治維會機構

【漢口廿五日發國通】武漢治安維持會の組織は會長、副會長の下に秘書處、財政局、建設局、社會局の一處三局を設け、別に會長直轄として警察總監部、稅捐總處參事を置き將來は參議院、審判院を設ける豫定である、警察總監部に警察局と水上警察局を設けて陸上と水上の治安維持に當ることゝなつてゐる

明朗蘇る漢口スケッチ

(上)武漢三鎭陷落記念として日本武士を象徵する櫻を移植すべく曹野氏の寄贈になる櫻苗木二千五百本を漢口日本公園に假植する將兵(下)安住の地を與へられて和平の氣に早くも蘇る漢口市街

佛租界にも五色旗 市中の明色頓に增す

【漢口廿五日發國通】わが軍漢口に突入し容共抗日の蔣政權を地方政權に叩き落して丁度一ヶ月、廿五日武漢五十萬支那民衆の興望を擔ひ武漢治安維持會が華々しく成立したこの日中原の空は晴れて漢口市內には戶每に日章旗と五色旗がはためき明朗漢口誕生に慶びの色が巷に溢れ慶祝の歡喜に滿ちてゐる、これまで隔離されてゐたフランス租界にも五色旗が高々と揭げられ愉快な風景を見せた、會場たる特別三區漢口商業銀行の五階大ホールの入口には菊花咲き亂れ式場は日章旗と五色旗で飾られてゐる、支那巡警の擧手の禮も今日は一入はりきり一段と威嚴を加へたやうだ、明朗武漢新生の重任を双肩に擔つて集つた維新政府有力者陸軍特務機關、各機關代表者の面上にも喜びと希望が溢れてゐた

武漢稅捐徵收 臨時辦法公布

【漢口廿五日發國通】廿五日成立を見た武漢治安維持會では武漢稅捐徵收臨時辦法を制定、即日公布實施し、同時に本法に基き稅捐の賦課徵收を管掌するため武漢稅捐總處を設立即日事務を開始した、同法總則左の如し

第一條 武漢治安維持會の徵收する稅捐は本便法により賦課徵收す

第二條 稅捐の賦課徵收は武漢稅捐署之を行ふ

第三條 稅捐の種目は當分の間左記の七種とす
一、房捐(家屋稅)二、營業捐、三、契稅(貸借稅)四、地稅、五、特稅(特別輸出に課稅)六、統稅、七、雜捐

第四條 稅種各目の賦課徵收に關しては別に之を定む

計武漢治維會々長の抱負

【漢口廿五日發國通】計武漢治安維持會々長は開會式後記者團との初會見において同盟通信社トーキーを通じて大要左の如き抱負を述べた

今回武漢三鎭の有志の方々の御推擧により武漢治安維持會の會長に就任しました因より中日兩國は同文同種の國であります、蔣政權は聯共政策を執つて以來、中日戰爭が勃發しわれ〳〵は塗炭の苦しみを嘗めさせられました、幸ひ日本軍がこれを打倒してくれまして平和の曙光を見出すことが出來、また本會を軍當局の御後援によりつくることが出來ましたことは私の最も感謝するところであります、私は本會を以て蔣政權打倒と東亞永久の平和に進む礎石としたいと考へます

海の精鋭 龍州を偵察攻擊 敵軍事施設殆ど潰滅

【上海廿五日發國通】艦隊報道部廿五日午後四時發表＝廿四日(一)廣東方面の殘敵討伐の海軍部隊は航空部隊及び陸戰隊との緊密なる協力の下に二虎島(ビルバーセージ)方面江岸の掃蕩を行ふと共に一部航空隊は陸軍の東江南方地區掃蕩戰に策應し磐石水道方面の監視警戒に任ぜり(二)なほ海軍航空部隊は龍州附近の偵察攻擊を行ひ多大の戰果を收めたり、即ち龍州においては市內の兵營及び重要軍事施設を爆擊、その一部を炎上せしめた、この全面攻擊により敵軍事重要施設は殆んど潰滅せり

豐田、小林兩提督參內

【東京國通】前北支方面海軍最高指揮官豐田副武中將は廿五日午前九時半東京驛着晴れの入京をした、畏きあたりより御差遣の平田侍從武官の出迎へに恐懼した豐田提督は、前參謀長小林仁少將とともに副官前川少佐を從へ、直ちに宮內省差廻しの自動車で參內天皇陛下に拜謁仰付けられ、昨年十一月の杭州灣、本年一月の青島各敵前上陸をはじめ在任中の重き任務に關して詳さに軍狀を奏上した、陛下には赫々たる偉勳とその勞苦を思召され畏くも優渥なる御嘉賞の御言葉を賜り次いで小林少將に拜謁仰付けられ、兩提督は光榮に恐懼感激して御前を退下した、なほ畏きあたりでは豐田中將に對し御慰勞の思召により御紋章付銀花瓶一個を御下賜あらせられた

田心で砲擊戰展開 東江南岸地區 包圍圈次第に縮小

【石龍廿五日發國通】東江南岸地區を大掃蕩中のわが軍は逐次南方に向つて包圍圈を縮小しつゝあるが、既にその第一線は英租借地北方六里附近に達し、更に南進中にして長谷川部隊は昨廿四日午前十時頃に田心において千五百の敵と遭遇、砲擊一時間の後敵は死體約三百を遺棄し南方に退却、わが部隊は猛追擊中である、更に一方○○方面に活動を開始したわが快速部隊は、廿四日青峯(從化東南方八キロ)に進入、附近において約七八百の敵と、又同部隊の一部は韓村(從化東南十二キロ)附近において四、五百の敵と遭遇し得意の機動力を發揮して包圍全滅戰を敢行、これを潰滅し多數の兵器を鹵獲した、敵の大部分は西南方に潰走、その一部は殘兗に乘つて英國租借地方面に遁走した

【石龍廿四日發國通】東江南方の殘敵掃蕩に當るわが軍は行動開始以來士氣益々旺盛にして敵を南方に壓迫しつゝあるが、廿四日までの各線進出狀況左の通り

竹下部隊主力は島沙、錦廈の地點に進出、廣九線西側を進擊せる長谷川部隊は主力をもつて廿四日午後四時半には樓村北方二キロ附近に進出し、またその一部は樓村の西方高地を占領した

長沙大火につき 蔣、報告書を提出

【上海廿五日發國通】重慶來電によれば去る十二日から五日間に亘つて猛威を振ひ長沙全市を灰燼の都と化した大火災につき蔣介石は軍事委員會委員長として國民政府主席林森宛左の如き詳細報告書を行政院長孔祥熙の手許に提出した

都會重要軍事施設等が敵に利用されることを防止するため敵の突入以前にこれを破壞するは支那軍作戰上の必要である、長沙もあらかじめ同市の破壞準備を整へて置くことは必要であつたしかし岳州が日本軍に占領された際長沙の官憲はされ日本軍の流言にまどはされ日本軍の來襲が目睫の間に迫るものと信じ豫め準備されたる長沙破壞手段は直ちに實行に移されるに至つた、同時に一部民衆も日本空軍の空爆に興奮するとゝもに長沙進入の迫れるを信じその住居に放火しかくて市內到る處に火の手が燃え上り遂に收拾すべからざる大火災となり全市は言語に絕する慘狀を呈するに至つたのである、余(蔣)は自ら慘火の後を視察しその損害の意外に大なるに驚き且つ傷心に堪へず、直ちに難民救濟、治安維持、通信交通の回復のため救援隊を編織した、同時に余は今回の大火災の公式調査を命じ責任者を軍法會議に送つた、その結果長沙憲兵司令鄷悌、同憲兵第二聯隊長徐昆は流言流布職務怠慢等の罪により又公安局文重夫は任務をみだりに放棄したる罪により死刑を執行せられたり、なほ湖南省主席張治中もかゝる無能なる部下を雇備したる件につき又職務怠慢の罪を免れず、よつて張を罷免されんことを望む、たゞし當分の間は彼を現職に止め長沙復興の責任を負はしめられるべきである、その他この度の慘害に直接間接の責任ある官吏は總て目下取調中である

敵大部隊と遭遇戰 粤漢線北上部隊 北江東側を猛進

【石龍廿五日發國通】東江南方の殘敵大掃蕩と呼應して二十三日淸遠東南方地區に於て敵の有力部隊を擊破し、更に敵を急追中であつたわが粤漢線北上部隊は二十四日午後北江東側地區に於て敵の大部隊と遭遇激戰の後これに全滅的打擊を與へ更に北方に猛進中である

國務院辭令(廿六日附)

駐在中華民國通商代表部理事官(濟南辦事處長) 王昨非
任外務局事務官 敍簡三等 命調査處勤務
外務局事務官 採錯
任中華民國通商代表部理事官 敍薦任三等 補濟南辦事處長

廣九沿線の殘敵掃蕩戰進む

【東京國通】廣九鐵道に沿ひ南下した川崎部隊の一部は既に廣九鐵道塘頭廈驛(樟木頭南方約八キロ)附近に進出、その主力は天生湖附近に達したがまた一方最右翼の乾部隊はその主力をもつて前面の敵を驅逐し廿五日午後四時には太和圩(龍岡關西南方五キロ)を占領、更にその一部は鎭江(沙頭東方約四キロ)附近に進出敵の大部隊を猛擊したが

傅上海市長狙擊さる

【上海廿五日發國通】廿五日午前十一時頃上海特別市長傅筱庵氏は登廳のため中新區〳〵江灣〳〵の特別市政公署入口にさしかゝつた際、附近に潜んでゐた一名の支那人兇漢のため突如ピストルを以て狙擊された、この時護衛の憲兵軍曹德谷宗十郎氏は身をもつて市長をかばひ、怪漢の放つた一彈は德谷軍曹の胸部に命中し同軍曹は壯烈なる殉職を遂げたが、市長は幸ひにして難を免れ無事であつた、なほ犯人は直ちに現場において捕縛され市政府警察及びわが憲兵隊の手で嚴重取調中であるが、上海に蠢動する抗日分子の一味とみられてゐる

消防署の眞ン前で火事 蒲團店倉庫燒く

また火事、然も今度は消防署の眞ン前といふ念の入れ方、廿五日午後十時十五分ごろ市內祝町二丁目ノ二蒲團店さぬき屋こと中村政明方倉庫より發火、火は濛々たる黑煙と共に倉庫內の綿、蒲團を舐めつくして同十時四十分鎭火したが、これには消火に努めた眞ン前の祝町消防署も些か呆れたらしい、原因は同夜九時半ごろまで夜業に使用したストーブの火の不始末と見られ、損害は約三千圓と言はれるが賑ひ最中の盛り場近くのこととて附近は一時異常な混雜を呈した

人事往來

▲佐久間章氏(同和自動車)二十五日來京ヤマトホテル
▲飯田嚴氏(辯護士)國都ホテル
▲八百枝俊夫氏(奉天商工公會)同
▲川口淸次郎氏(滿洲鉛鑛)同
▲增田幾雄氏(三井物產)同
▲重井平四郎氏(同)同
▲森岡金藏氏(同)同
▲菊池赳夫氏(松下電機)同
▲佐々木友次郎氏(同)同
▲和田精氏(發動機製造)同
▲瀨戶山之氏(鑛業)同
▲辰村米吉氏(辰村組)同
▲佐久間寬氏(日淸製油)滿蒙ホテル
▲天笠銀次郎氏(滿蒙)同

偶語

今次事變を契機として今まで世界の水準下に置かれてゐる形にあつた日本の商業航空は一躍先進諸國の壘を摩すに至つた▼即ち大日本航空會社にありては南は台灣から北は樺太に到る國內各線の擴充に加へ▼外は東京北京、東京漢口、東京南京、東京青島、東京廣東等のメーンルートが開設されこれに配する機材は▼米國航空界の王座を占める二十四人乘りダグラスDC三型、十二人乘高速機ロッキード十四型を以つてし僅か數時間にして國都と支那各地主要地間を連絡してゐるのである▼これが對支航空路線の擴充は必然的に既設航空路線に支障を來し現に日滿兩國都を結ぶ東京新京定期航空の如き毎便超滿員にて需要の半ばをも充し得ない狀態である▼對支線に比べより以上日本內地と密接不可分の關係にある滿洲國とのこの日滿連絡線を如何に擴充するかは重大問題であつて荏苒姑息を許さないのである▼然るに日航の現狀よりしてこの路線の擴充は機材に於てもさうであるが、それよりも本然の使命に於て當然放棄し代るに滿航を以つてすれば足りるのである▼兩國間の表面的問題はどうであらうと非常時に於ては非常時らしく實際に即することが何より大切だ

社説

統一政權の問題

支那の新しい統一政權樹立のための運動が漸く昂まつて來てゐる。ところで、やがて生るべきこの中央政權の本質實體はどのやうなものであるべきか。われわれはその形式の如何よりもその內容について注視しなければならぬであらう。

思ふにこれまで支那を支配して來た舊い政治體制としては、中世的な中華帝國の遺制と、歪曲をれた排外的民族主義理論による中華民國のそれの兩者があつた。更に今次事變の結末として西北支那に殘存するであらうと想像せられる共產的地方政權である。これの三者ともに新しい東亞協同體の原理に背反するものであることは言ふをまたない。中華帝國は封建的中世的制度である。國民黨の中華民國はその誤れる民族主義により西歐的帝國主義との結合の下に地域的非協力による建設を志したものである。ともに否定されねばならぬ。また共產支那は新東亞體制がコミンテルンの世界理論を根本的に否定し防共の一線を確立せんとする立場から當然に相容れぬのである。斯くて新しい中華民國は日支提携を目的とし防共精神を旨とした東亞に於ける運命の連帶を意識する支那民族によつて構成されねばならぬことが明らかとなるのである。

ところで實際には現に北京に臨時政府が存して居り、南京には維新政府が組織されてゐる。いまのところ兩者は平等に聯合委員會を組織して統一への歩みを進まうとしてゐるのであるが、今後軍事的占據地域が擴大するに作つて數個の地方政府の成立も見られるであらう。これらをいかに統合して中央政府をつくるかといふことが今後の問題となるのであるが、それには軍事關係や治安狀況や交通事情、經濟回復等の諸要因を離れて考へることは出來ぬのであるまた國民政府の覇權の下にあつた支那はひたすらに統一へと向つてゐたのであるが、支那の實際として或る程度の地方自治を適切とする事情も存してゐることが考へられねばならぬであらう。

更にまた新支那の政治體制がいかなるものとなるにせよ日滿兩國がその存在を實力を以て保障してゆかねばならぬことを忘れてはならぬ。言ひ換へれば日滿支の聯合協同體制といふことなのである。これについては愼重なる計畫を樹てることが必要であらう。なほまた新政府と諸外國との關係も考慮されねばならぬ。諸外國が新政府を承認すると否とに拘らず、支那に關係を持つ諸外國が現存するからである。そしてこの諸外國に對して支那の新政權が確乎たる方策を進めるためには自ら强力な中央集權政府であることが必要となるのである。われらは注目して今後を見まもらねばならぬ。

日獨文化協定 昨日調印を了す

外務省から聲明書發表協定全文

【東京國通】日獨兩民族の文化的提携增進を目的とする日獨文化協定は防共協定締結二周年記念日たる廿五日午前九時卅分霞ヶ關外務大臣官邸において有田外相とオットー獨大使との間に調印を了した

協定全文

【東京國通】日獨文化協定全文左の通り

□

大日本帝國政府およびドイツ國政府は日本文化、ドイツ文化が一方は日本の固有の精神を他方はドイツの民族的および國民的生活をその眞髓とするに鑑み日本國及びドイツ國の文化關係はこゝにその基調を置くべきものなることを嚴肅に認め兩國の各種の文化關係を深からしめ且つ兩國々民の相互的知識および理解を增進せしめ以て既に幸ひに兩國の結合する友好および相互的信賴の關係を益々鞏固ならしめんことを欲し左の通り協定せり

第一條 締約國はその文化關係を堅實なる基礎の上に樹立するため努力すべく相互に右につき最も緊密なる協力をなすべし

第二條 締約國は前條の目的を達成するため學術、美術文學、映畫、無線、放送、青少年運動、運動競技等の方面において兩國の文化關係を組織的に增進すべし

第三條 前條の規定の實施に必要なる細目は締約國の權限ある官憲間において協議決定せらるべし

第四條 本協定は署名の日よりこれを實施すべく締約國の一方は十二月の豫告を以て本協定を廢棄することを得

右證據として下命は各本國政府より正當の委任を受け本協定に署名調印せり

昭和十三年十一月廿五日即一九三八年十一月廿五日東京に於て日本語及びドイツ語を以て本書二通を作成す

大日本帝國外務大臣 有田八郎

ドイツ國特命全權大使 オイゲン・オットー

外務省聲明

【東京國通】外務省では日獨文化協定に關し廿五日左の聲明を發表した

□

日獨兩國間には古くより特に醫學、法學、文學、音學等の分野において緊密な文化的關係が存在してゐるのであるが最近殊に防共協定締結以來兩國の關係は一層深きを加へることゝなつた、本年八月ドイツ政府は帝國政府に對し更にこれを鞏固にするため文化的關係に就ても條約上の基礎を置かんことを提議して來れるを以て帝國政府は欣然これに應諾したのである、本日署名效力を發生したる日獨文化協定が短時日の商議の後締結せられたることは既有の日獨友好關係に又新たる證左を加へたものとして誠に慶賀に堪へない、而して本協定は日本に取りては此種協定中最初に實施せらるゝものである、本協定はその前文において兩國の精神的關係增進のため兩國政府が行ふ協定は兩國の文化の親善を基調とするものなることを認めてをり、本協定それ自身が兩國が依つて以て行ふ可き一般的原則を示してゐるものである、本協定に則應し兩國の健全なる關係に於て取り敢へず協議方考慮さらるべき事項は左の通りである

一、日獨文化連絡協議會設置

二、文化施設の維持擴充

三、學校教員の任命

四、政府派遣留學生に對する便宜供與

五、教授、學生交換

六、青少年團による交驩

七、ドイツに於る日本の學校及び日本に於るドイツの學校に對する好意的措置

八、圖書雜誌交換

九、藝術文化交換

十、映畫交換

十一、交換放送

十二、運動競技等による交驩

外務省情報部長談

【東京國通】日獨文化協定に關する外務省情報部長談左の通り

□

豫ねて東京において日獨兩國政府當局間の交渉中であつた日獨文化協定は本日署名調印を終つて茲に成立することゝなつた、右協定により兩國民の文化關係は益々緊密となり相互に對手國に關する知識と理解を深めることゝなつたことは誠に慶賀に堪へない、最近わが國は國際聯盟と完全に絕緣した、然しこの事は決してわが國が諸外國と文化關係を斷絕しまた文化的協力を排することを意味するものでなく今後もわが國は聯盟加盟國たると否とを問はず友好的關係に有る國と文化的諸事業につき進んで協力を行ふもので あることは毫も從前と變らぬのである

今日々獨兩國間に締結された文化協定は各國と個別的に相互主義に基き雙務的協定によつて對外文化關係を增進せんとの日本政府の熱誠なる希望の證明である、本日締結された協定は日本が結んだ、この種協定中最初に實施せられるものであるが、今後これを第一歩として出來得る限り多く友邦國同樣な協定が結ばれることゝなるだらう、現にハンガリーとの間には去る十五日文化協定が調印されたほかイタリーともこの種文化協定の締結方準備中であり、右のほかにも本邦と文化協定の締結の希望を有すると認められる諸國とは今後引續き協定締結を促進したる、今後他の諸國の結を豫期せらる…

盧山々上の外人 極度に窮迫

英米から救護に向ふ

【上海廿四日發國通】わが揚子江南段の作戰により廬山は完全に包圍され山上の都邑牯嶺は外界との連絡を絕たれて孤立化したが、九江その他より牯嶺に避難滯在中の外人は米人卅四名をはじめ合計百五十名に上り、食糧の不足と嚴寒の到來によりその滯在は漸次憂慮されるに至つた、よつて九江に碇泊中の英砲艦コックチヤファー號及び米艦モノカシー號の先任將校T・B・コックス(英)及びコーフィールド(米)の兩氏は日本軍當局並に出先外務當局斡旋により廿三日正午九江を出發、これらの外人の危急を救ふべく廬山の峻嶮に向つたが山中にはなほ支那軍の敗殘兵約五千名が蟠居してをり、よくこれらの多數外人救出に成功し得るや否やは疑問視されてゐる

「俺は生命線が太い」

山瀨隊二鳥人武勇譚

機體に敵彈二百數十發

【○○基地廿四日發國通】機體に無數の彈丸を受けながらも「俺は生命線が太い」など威張りつゝ奮戰する山瀨部隊鳥人の武勇譚

□

その一人は熊田光治准尉(兵庫縣出身)山瀨部隊長機の操縱者、操縱にかけては同隊のピカ一と言はれるが、過日聞喜が敵軍に包圍されわが軍籠城三ヶ月に及んだので友軍に彈藥食糧の投下飛行中右熊田機は敵彈二百數十發を機體に受け遂に最後の一發がエンジンを貫いてしまつた、沈着豪膽の熊田准尉は追風を利用して敵陣內に着陸、機關銃を執…

中支軍宛私用小包郵便 十日取扱再開

【東京國通】中支方面の皇軍宛私用軍事小包郵便は去る九月以來武漢攻略のため取扱を中止してゐたが來る十二月十日から再開することとなつた

鮎川總裁 近く渡米 年末か來春

【東京國通】鮎川滿業總裁の渡米は關係方面から注目されてゐたが、滿業の基礎も漸く確立し新たな段階に…

排共大會 (挨拶と祝辭)

會長挨拶

本日茲に日獨伊三國防共協定締結の紀念日に當り、我滿帝國協和會は徹底的なる排共精神を喚起し國民の士氣を盛ならしむる目的の下に特に首都に於て排共大會並に祝交驩大會を開催し得たるは誠に意義深き盛擧なり。我滿洲帝國と友邦日本帝國は共同防衛の大義に基き防共工作に對し休戚を共に團結一致の精神を堅持するなり、惟ふに我國は地理上排共の前線に位す、其の任務極めて重大にして從つて又邦の我國に期待するところもの深甚なるは固より論をまたず、於是我國民此の旨を體し上下一心、努力邁進、友…

伊公使挨拶

獨公使祝辭

俺は生命線が太い

分村計畫懇談會 移民對策機關に

滿洲赤十字社へ 相次ぐ獻金

荒蕪地帶窮民に 滿赤が醫療施藥

男子國民高等學校長會議

國民高等學校長會議

奉天鐵西土地 買收問題に 賄賂の確證

滿蒙青少年團 壯行會

世界總人口 廿八億三千萬人

麻藥法改正

ソ聯警備船又も わが漁船を 不法拿捕

國防皇軍慰恤獻金品

獨大使のステートメント

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

滿洲國官吏の偶感

此の前の協和會全國聯合協議會の席上で或代表が、協和會精神を最も理解してゐないのは滿洲國官吏だ、と云ふ意味のことを公然言ひ放つた。元來滿洲國官吏は協和會精神の最も熱烈なる體得者であるべき筈なのに、かゝる不名譽のことを言はれながら、並び居る滿洲國官吏は之に對して何事も言はなかつた。多分自ら省みて敢へて其の不當を反駁し得なかつた爲であらうと察せられた。

其の後、見聞して氣が付いて見ると成程と頷かれることが多い。先日、本欄に出た官廳の出勤簿と云へ、上によく下に悪いと云ふ文官令の制定はともかくとして、上に立つ者は、も少し自粛自省して大いに官紀を刷新すべきだ、さすれば上の行ふ處下自ら之に倣ふ様になる、これが王道政治の始であると思ふ。

只口先で如何に民族協和だとか王道政治だとか叫んでも苟も上に立つ程の者が實踐し身を以て範を示さなかつたならそれは何の價値もないではないか。

上の者が、朝から定刻より一時間も二時間も遲れて出勤し役所の自動車を乘り廻して一、二時間も費して中食をしてゐては、下の者は緊張して働く氣になれないのは無理はないと思ふ。

上に立つ者が身を以て實踐し範を示さなかつたならば民族協和は勿論、世界に冠たる王道國家も出來損つてしまふではないか（石先生）

企畫委員會通過の 麻袋統制要綱

＝實施は明年一月から＝

滿洲國の麻袋統制要綱は企畫委員會を通過したので、廿四日午後一時より大連滿鐵社員俱樂部において産業部松井特産科長、邈事務官、關東局行政課長代理として塚本事務官、關東州廳森岡商工水産課長、滿洲特産中央會松島專務理事、小林專務理事、今城主事をはじめ麻袋輸出業者、取扱業者、有力特産業者等五十餘名出席のもとに統制要綱案が正式に發表された、まづ森岡商工水産課長は滿洲國の麻袋統制に關東州廳は全面的に協調する旨を述べて業者側の善處を求めついで松井特産科長は統制要綱案につき逐條説明を行ひついで關東局を**代表**して塚本事務官は滿洲國との協調を力説、次に松島滿洲特産中央會專務理事は滿洲、關東州兩特産中央會を代表して統制の中心たる同會に對し關係方面の協力を要請したるのち中央會の業務を代行すべき滿洲麻袋聯合會の結成に關し發起人九名（三井、三菱、大同豐隆、松本、吉本、聚源達、同仁號、萬增盛）を指名し、まづ聯合會發起人は廿五日午後一時より大連において聯合會設立事務に關し協議することゝし三時半散會した、斯くて麻袋聯合會は急速に設立の運びに至るべく、滿洲國及び關東州の麻袋統制は明年一月一日より實施されることとなつたこれがため大連五品取引所はその機能を喪ひ全麻袋業者も亦業務範圍は著しく局限され或はこれを失ふに至る譯で取引所當局、取引人等は必死に善處策を考究中である今回の麻袋統制は麻袋、特産兩業界に大きな革新的波紋を投げたが、統制要綱は特産中央會に強力な統制力を賦與した點が注目される、なほ回の統制は國内の産業振興に即應するやう麻袋紡織會社製品と輸入品との調整をはかるため統制料を平衡資金に充當するやう企てゝゐること、麻袋配給に當つて第三國向け輸出品に優先權を與へてゐることが要綱中の大きな特異性である、而して麻袋統制によつて、その價格は安定し配給は圓滑となり、包裝用の麻袋入手は容易となり、特産物の輸出が大いに促進されるものとみられる、なほ統制實施の際聯合委員會員の所有する麻袋は聯合會の指圖に基き所定の**價格**をもつて配給せしむるものとするとの處置方法は、思惑買占めを防ぎ、旁々ストック處理は聯合會の配給價格が現在の取引所最高帳入値より可成り下値となる點よりみて種々の場面を展開すべく豫想されるこれに關聯し五品取引所の當限並に十二、一月限の取組玉が如何なる結果を告げるかゞ問題である

麻袋統制要綱

麻袋統制要綱左の如し

一、方針（略）

二、要領

一、（略）

二、（略）

三、聯合會は特産團體及び麻袋紡織會社と協議の上期別（二ヶ月一期）種類別麻袋の需要數量を推定し新麻袋の輸入計畫を定めるものとす現行の輸入計畫は毎期はじめにこれを更新するものとす、聯合會は新麻袋計畫の決定に基き中央會に具申しその承認を受くるものとす

四、（略）

五、輸入商第四項の輸入割當に基き新麻袋を産地に買付んとするときはその數量及び直積價格につき豫め聯合會と協議しその承認を受くるものとす

聯合會必要と認むるときは輸入商の新麻袋買付時期を指定し得るものとす

聯合會第一回の承認をうけたるとき及び第二項の買付時期を保證したるときは遲滯なくこれを中央會に屆け出づるものとす

前項の屆出でありたる場合において中央會必要と認むるときは買付數量及び買付時期を變更せしめることを得

六、輸入商第四號の輸入割當に基き新麻袋を輸入したるときの諸掛（船運賃、保險料、荷揚費其他）の計算は聯合會において豫め船會社及び保險會社等と協定したるものによる

聯合會第一項の諸掛りを協定せんとするときは豫め中央會の承認をうくるものとす

七、聯合會は第三號の承認に基き輸入せんとする新麻袋數量の五〇％を輸入港沖着價格（備品を含む）を基準として會員に競爭入札を行はしめ落札者をして輸入せしめるものとす

聯合會は本項の落札者を決定するにつき中央會の承認を受くるものとす

第一項の落札者は原則として國内配給豫定期初め十日前より該期半ばに至る間において新麻袋を輸入するものとす

八、中央會は毎期二ヶ月前に新麻袋輸入爲替の許可を得るが如くこれが申請をなすものとす

九、十、十一、十二（略）

十三、輸入港における期別新麻袋配給價格は當該期間内に輸入せられる新麻袋平均陸揚げ價格（第四號の輸入割當に基き輸入商の輸入せる新麻袋一枚につき六厘の輸入手數料を含む）を算出しこれに配給に至るまでの諸掛（取扱商の取扱手數料新麻袋一枚につき四厘、入麻袋需要者より代金の支拂を受けるまでの金利、日歩一錢八厘、其他一切の手數料、及び十五號に定める統制手數料を加算しこれを決定するものとす

十四、新麻袋輸入保管及び配給に關し善良な管理者の注意を怠りたることによつて生ずる損失あるときは會員これを負擔するものとす

十五、聯合會は新麻袋一枚につき金二錢の統制手數料を徴收しこれを積立つるものとす聯合會現行の統制手數料を變更せんとするときは中央會の承認を受くるものとす

十六、（略）

十七、中央會は聯合會に對し何時にてもその業務を分明ならしめるに足る書類を提出せしめることを得るものとす

十八、麻袋紡織會社はこれを適當の機會に聯合會に加入せしめ、麻袋生産振興工作に即應する如く該會社の製品と輸入品との調整を圖るものとす

三、處置

一、政府は中央會以外のものに對し新麻袋輸入爲替を許可せざるものとす

二、ヘッシャン・クロース麻糸はこれを輸出統制品目に追加するものとす

三、本統制は實施一定期間前に發表するものとす

四、本統制實施の際組合員の現に所有する新麻袋はこれを聯合會の指圖に基き所定の價格をもつて配給せしめるものとす

錦ケ丘高女生 母國修學旅行記

第八信（下）　蘭原　千鶴子

十一月三日

丸窓から吹きこむ朝の潮風は懷しい匂ひがした、ドラが幾度となく鳴りわたる。

遠い島の彼方が紅をおびて來て、その島影を白帆が二つ三つ縫つて行く。

今日は十一月三日。明治節である。

船が高濱の港についた頃、私達は上甲板に集合して、さゝやかな式を行つた

「東京において、明治神宮をはじめ、外苑繪畫館で明治天皇の御聖德に接する事ができました、私達がかうして樂しい旅行をつゞけて行く事が出來るのも陛下の御稜威であり又船上でこの樣な佳節を迎へるのも、旅の憶ひ出の一つとなるでせう。」とお話になる何井先生のお言葉に、波うつ樣な感激をおぼへた。

日の丸の紅と紺碧の海は麗しい海上の朝を一そう美しく彩つてゐた、君ケ代の合唱は遠い／＼果までも漂つて行つた事であらう。

式がすむと輪なげ遊びに興じたり、お友達のさま／＼なポーズをカメラに收めたりする人も多かつた

九時のサイレンがなり、乘客一同甲板に出でて明治節の式を行つた、久留米高女の方々も白いリボンをひろめかせながら上つて來られた。『萬歲』を三唱して後、船長さんから瀬戸内海に關してのお話を伺つた

瀬戸の內海。

國立公園の名に恥じぬ美しい廣重の繪にも書かれ、數々の傳說を秘めてゐるこの海をたゝへた人々は、どんなに澤山であることでせう。

白い陽が、今日一日の旅を祝福するかのやうに群れ遊んでゐる姿も嬉しかつた。

船室に歸つて見ると、少し波が高くなつたと言ひながら毛布をかぶつて横になつてゐる人もある。

晝食がすんだ頃はもうぢつとして居られない。「そろ／＼荷物の用意をなさい」といふ先生の聲にやつと散らかされた船室が、すこしづゝ片づいて行つた。

かくて一時三十分すみれ丸は別府の港に入つて行つた。

ブリッヂをすぎると花菱旅館の人が二、三人迎へに來て下さつてゐた。

高く鼻をつく礒の香はほげしいまでゞあつた、旅館は海に面した波止場のすぐ近くにあり白衣の勇士たちが二、三人小さな子供達とたはむれてゐらつしやつた。

休憩するひまもなく、荷物を置くと直ちに地獄めぐりの遊覽バスに乘つた。

バスガールの節まはしは何處でもおかしい。

もう馴れているはずであるのに。

別府市は溫泉で發達しただけあつて、どんなに靜寂な町であらうと半ば期待してゐたのであつたけれどそれは考へちがひであつた。

でも內面的には何となく落ちついた感じをうけた。まちを過ぎ、しばらく行くと大佛樣の大きなお姿が見えた、これは奈良の大佛よりも大きいのださうだ。

左には鶴見嶽がそびえ、右は青い別府灣。

早見ケ浦の礒馴れの松も美しかつた、松原ごしに白帆もみえるし、のどかな景色が展開され、バスガールも「此所は大變景色良く、皆樣此所に別莊をお建てになつては如何です」などゝいつて笑はせた。

ほこり臭い田舍道に入るとあちらこちらの溝の樣な所からは盛んにお湯がわいて白い煙が立ちのぼつてゐるのも溫泉地らしかつた。

最初は血の池地獄

一體どんな所だらう、赤い血の樣なお湯が滔々とたぎつてゐる悽慘な有樣を想像してゐただけに、赤く見へるのは下の土の色の爲だつたので想つたよりは貧弱ではあつたけれど異樣な感じがした。

「皮膚病に特効があります」といふ案內の言葉がいつの間にか藥の宣傳になつてしまつて、さそはれる樣に一袋買つてしまふ。

此處の土は陶土にも用ひられ染料にも利用されるらしい。

絞り染めしたタオル、寢卷きなどが土産をうる店先にたくさん吊るされてあつた。

この池の中に卵を入れておくと僅か五分でゆだるさうだが變なにほひは嫌だらうと思つた。次は坊主地獄へ――

碧石溫泉をすぎて行く道は三井寺から琵琶湖に出る道に似てゐると聞いて懷しかつた。

別府名物の一つであるといふへうたん溫泉をすぎ坊主地獄へ着いた。

セメント色の粘土の下から、おまんぢゆうの樣なものがブク／＼渦卷いて出ては引つこむ、臭いにほひが鼻をつく。

此處でも又殘り少い財政を心配しながら湯の花をお土産に買つてゐる

坊主地獄より少しの所に海地獄がある

ウラルヒスイをそのまゝ溶かしたやうな美しい透明な青い色である

「溫泉湯を」と差しだされて飲んでみたけれどあまりにも鹽からくて吐き出してしまつた。

泥地獄は底知れず神秘なものとされてゐる

鶴見地獄へ向ふ道でバスガールが別府小唄をうたつてくれた、鬼が眞中に金棒を持つてがんばつてゐる姿、鶴見地獄は、熱地獄である八幡地獄では怪物を見た、あやしいミイラ樣のもので恐しい形相をしたものばかりであつた、此所では船の中で一緒の久留米高女の生徒達に丁度出逢つた、これでとう／＼地獄めぐりも終つてしまつた。

今までになく明るいお部屋からみえる眞下の海に疲れた體も自然のび／＼として來る。

「いゝ眺めね、でも一日しか居れないんですもの」と滯在日數の少いのを嘆いてゐる。

別府には今、多くの傷病兵の方々が療養に來ておられ、花菱旅館にも隨分おいでになるので階段の上り降りにも久方ぶりに貞淑を實行した。

長い間お風呂に浸つて溫泉情緒を充分に味つてお部屋にかへつて見るともう夕飯が始つてゐた。

夜は代表の方が傷病兵のお見舞に行かれるはずであつたのに、丁度今夜は演藝會があるといふので、皆幸とばかりに會場へまいりました。

餘興をなさる兵隊さん達はみな白い着物ではあつたけれど潑溂たる元氣に滿ち／＼した愉快な方ばかりであつた。

でも右手のない方が左手でハーモニカを吹いて下さつたり三本の指に不自由なさりながら彈られた光景を見た時、誰も目に淚を一杯ためて思はず伏せた程、いた／＼しい姿に感謝しても足りない氣持がした。

ちつとも自分のそんな所に氣もかけないで一生懸命になつてゐらつしやる偉い姿！

今も胸によみがへつて來る。

そしてどこまでも雄々しい日本の兵隊さんを頼もしいと思つた。

私達は「祖國を想ふ」の歌を合唱した、そして有志の方が舞踊をなさつた。

いつまでも／＼こんなに樂しく遊びたいと思つたが、明日も早いし、もう夜も更けて來たので名殘り惜しいお別れを交してお部屋にかへつた。

別府に來てかうした意義ある一夜が過せた事は何にもまして嬉しかつた。

旅行も終りにちかずいた。

旅の日の最後の憶ひ出として今宵一夜はいつまでも深い印象に殘ることであらう。

資本金一千萬圓 葉煙草販賣會社設立

滿洲國政府では煙草增産計畫に伴ひこれが配給機構の適正を期し豫て資本金一千萬圓の葉煙草販賣會社設立を計畫中のところ廿五日創立委員會開催の運びとなつた、葉煙草再乾燥場については右會社が近く買收する鳳凰城工場並に明年一月創立豫定の奉天鐵西の再乾燥工場を以て全滿葉煙草の再乾燥を行ひ、鳳凰城の工場は安奉線附近一帶の葉煙草をあつめ鐵西工場は奉天、大連間の葉煙草を買收する筈である、なほ將來は錦州にも再乾燥工場を設置し熱河省方面の葉煙草を取扱ふこととなる筈である

十月中對外貿易概況

經濟部發表＝十月中の滿洲國對外貿易は輸出四千三百三十三萬三千圓、輸入一億六百四十三萬七千圓、差引六千三百十萬四千圓の入超で前年同期と比較し輸出は四百四十一萬六千圓、輸入は一千四百六十三萬一千圓を夫々增加してゐる、一月以降累計は其の絶體額に於ては前年同期に比し著しく增加してをり、入超額も四億一千萬圓となつた、對日貿易は輸出入共膨脹の一途を辿つてゐるが對支貿易は最近輸出入バランスが著しく調整せられてきた、即ち本年度上半期に於ては四千五百萬圓の出超を示してゐたが七月以降漸次改善せられ、九月中の貿易尻は遂々本年度最初の入超を示現し本月も引續き四百五十萬圓の入超となつた、之は七月に入り滿洲國の支那向輸出の統制強化と相俟つて第三國品に換り支那産品の滿洲市場への進出となつたもので支那棉が印棉に換り滿洲市場の需要を充しつゝあるはこの傾向を物語るものと見るべきである、なほ本月中の日本、支那を除く所謂ブロック外貿易は輸出一千十六萬圓、輸入九百卅二萬圓にして八十四萬圓の出超であり、その一月以降累計貿易尻は約二千萬圓の入超である

△相手國別十月中の貿易高（單位千圓）

國別		輸出額	輸入額
對日本	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
對第三國	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
支那を除きたる對第三國	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
內譯 對中國	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
對獨逸	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
對その他	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
十月計	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]

備考　日本中には朝鮮その他外地を含む

△一月以降累計

國別		輸出額	輸入額
對日本	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
對第三國	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
支那を除きたる對第三國計	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
內譯 對中國	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
對獨逸	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
對その他	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]
合計	本年	[illegible]	[illegible]
	前年	[illegible]	[illegible]

備考　日本中には朝鮮その他外地を含む

哈鐵管內 大豆出廻り豫想

哈鐵管内各線別本年度大豆出廻り豫想左の如く合計三萬三千七百十三車で前年度實績三萬六千九百五十七車に比し三千二百四十四車の減退を見込まれてゐるが、右は濱江八區並に三棵樹埠頭、哈爾濱市附近の出廻りを控除せる結果である

線別	車數
京濱線	一〇、七六八車
濱北線	一三、九八〇車
拉濱線	四、五七四車
濱綏線	一、七八二車
濱州線	二、五六〇車
哈爾濱附近	
合計	三三、七一三車

△十月中の稅關別輸出入

稅關	輸出	輸入
大連	[illegible]	[illegible]
安東	[illegible]	[illegible]
營口	[illegible]	[illegible]
奉天	—	[illegible]
新京	—	[illegible]
哈爾濱	[illegible]	[illegible]
圖們	[illegible]	[illegible]
山海關	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

註　1、輸出中には再輸出を含む　2。稅關別中各分關は本關に一括計上せり

十月中の對滿貿易額

【東京國通】大藏省發表＝本年十月中の對滿貿易は左の如し（單位千圓）

項目	金額
輸出總額	二七一、五一九
再輸出額	一、〇四五
輸入總額	一八二、二四九
再輸入額	一、一四九
計	四五五、九六二
滿洲向輸出額	一一、二六〇
滿洲向再輸出額	三五一
滿洲よりの輸入額	一一七、〇六三
滿洲よりの再輸入額	六七四
計	一二九、三四八

滿鐵、北支兩社の聯絡機關を設置

北支交通會社設立後に於ける滿支間交通關係業務の統制聯絡に關する具體的方法については、かねてより滿鐵並びに北支關係當局の間に種々研究されつゝあつたが、北支交通會社設立後北支諸鐵道の整備充實に伴つて滿支間に於ける交通聯絡は一段と緊密の度を增し又滿鐵からは北支交通會社に向つて多數社員並びに資材が送り出される關係から直接業務上の密接なる聯絡も當然必要となつたので、この際兩會社間に相當强力且つ權威ある聯絡機關を設置すべきであるとの意見が最近關係者間に有力に擡頭するに至つた、しかしてこれが具體的方法としては滿鐵、北支兩會社の統合機關として滿支聯絡局（假稱）を北京に設置、局長、副局長の下に局員十數名を配置して滿支間に於ける交通上の諸聯絡、首腦部人事の兼務制乃至一般人事の交流等に關し專門的業務を遂行せんとするもので、恐らく交通會社設立直後具體化するものと見られてゐる、同聯絡局の設置は將來滿支間交通事業の圓滑なる發展のため極めて適切妥當なる方法であり大いに實現を期待される

鐘紡臨時株主總會

【東京國通】鐘紡では廿四日午前十時丸の內工業俱樂部で臨時株主總會を開催過般實行せる倍額增資（資本金六千萬圓を一億二千萬圓とし增資株第一回拂込み四分の一）經過につき報告をなし滿場一致承認した、なほ引續き鐘ケ淵實業會社創立總會に移り創立に關する諸議案を審議した結果何れも原案通り決定した、役員は左の通り

取締役　津田信吾（代表取締役社長）以下十三名

監査役　四名

商況欄（二五日後場）

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品新	[illegible]	[illegible]
東業	[illegible]	[illegible]
滿新	[illegible]	[illegible]
同紡	—	—
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	—	—
大新	[illegible]	[illegible]
豆新	—	—
土木	[illegible]	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿取	—	—
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	—
滿業	[illegible]	—
同新	—	—
日蠶	—	—
五品	—	—
滿鐵	[illegible]	—
同新	—	—
鐘紡	—	—
電甲	[illegible]	—
電乙	[illegible]	—
日畜	[illegible]	—
新郵	—	—
電業	—	—
化學	—	—

新京取引市況

先物	寄	引	出來高
●大豆 十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]車
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]車
●高粱 九月限	—	—	
十月限	—	—	
十一月限	—	—	

手形交換高（二五日）

[illegible]枚　[illegible]

家庭

護れ赤ん坊の冬

洗ひ晒しの浴衣が金襴緞子以上
肌着はガーゼ地を

寒い寒い多から可愛い赤ちゃんを護り、強く健やかに育てるにはどんな衣類を選んだら良いでせうか。赤ちゃんの皮膚は非常に抵抗力の弱いものですから、直接肌に觸れる肌着の類はなるべく柔かく

刺戟 のない布を選ばねばなりません

近年ガーゼの下襦袢が使はれるやうになり、デパート等でも盛んに賣出されてをりますが、軟かい赤ちゃんの皮膚には最も適したものと思はれます。木綿類が種々統制を受けてゐる昨今でも、ガーゼは誰方にも手に入れられるので至極好都合です。ガーゼ地は刺戟がないばかりでなく、いくらでも洗濯が効き、且つ簡單に乾燥ができますから非常に便利です。

スフ 地が乳兒の衣類として適するか否かについては中々喧しい議論を聞きますが、肌着以外に用ひるのでしたら些かの害もないのです。乳兒に着せる衣服の枚數は大體大人より綿入一枚多い位が適當です。寒い寒いで親心から矢鱈に厚着させることは絶對に禁物のことです。度を過ごした厚着は兒體の自由活潑な運動を妨げて却て赤ちゃんの健康を損ねるものです。

倚、赤ちゃんは、皮膚自體が外氣に對して溫度を充分に調節する事ができないものですから

薄着 と云つてもその日の溫度により或はまた一日中でも、朝晝晩で着物の加減をしてやらねばなりません。生れて間もない乳兒は、襟元に四枚位に重ねたガーゼを當てゝやつて下さい。此處は吐乳等で濕り易く、之を放置すると顎が直ぐ赤くたゞれて來て多は殊に癒りにくいものですから充分御注意下さい。

お襁褓に一番よいものは晒木綿ですから古い浴衣を

利用 して澤山作つて下さい。それに何度も水をくゞつた古浴衣は生地が軟かい皮膚には適當なものです。しかし濃い色のものは便の見分けが困難ですから、なるべく白地のもので作るやうに

お襁褓の型は從來の長方型のものより、三角形式のものが、脚部の運動を妨げないので適當してゐます。即ち一尺三四寸角の布を三角に折つて使用するものです。お襁褓カバーは

防水 を施したものがありますが、水蒸氣の發散が悪い爲濕疹を起し易いので、やはりフランネルか又は毛絲の古シャツを利用して作るやうにして下さい

荒れ知らずに過す
油の美顔術
有合せの材料で

寒風のために肌がかさかさになつて、白粉がのらなかつたり頰や鼻が赤くひゞが切れたりして荒れ性の方には全く面白くない季節が來ました。さうした方々が絶對に荒れ知らずに過ごせる『油の美顔術』をお知らせしませう。材料はお家に有合せのものばかり、ご自分で簡單に出來ます。先づコールドクリームで地肌を拭いて顔のごみや脂肪を取り更にコールドを塗つて簡單なマッサージをします。やはらかいガーゼでクリーム氣を十分に拭き取つておきます。別に純粹の椿油かオリーヴ油を皮膚につけて、火傷しない程度の熱さに溫めた湯に婦人用のハンカチーフ位の大きさに切つたガーゼをひたします。このガーゼを顔の上にのせ仰向のまゝ暫くおき、眼の廻り小鼻、口など顔の窪みになつた所を輕く押へます。頰にひゞが切れてゐたり、唇が割れてゐるやうな方はこのガーゼを三回位取換へるとよろしい。濟んだらガーゼのマスクをとり弱酸性の化粧水のあん法をしますと、すつかり肌が整ひます。この美顔術に使ふ椿油は必ず純粹椿油で、香料のはいつてゐないものを選びます。肌によつては香料負けすることがありますから御注意下さい。後でつける化粧水は必ず皮膚を刺戟しない薬用化粧水を用ひることです。

二等 秋光を浴びて（寫友會秋季競寫會作品モデルはミス東洋まさるさん）滿鮮拓殖 山村育稔氏撮影

コロチャン（29）

ヤッ クロクモ ニュウドウダツ

ウワッ タベル ツモリダ

ツルツル

アレッ ウドント マチガヘテヤガル

ハガ ナイカラ コナレナイサ

安眠は腹八分
滿腹も空腹も不可
迷走神經の働きによる熟睡

人間は元來成人でも子供でも疲れてくれば身體を休める。或る一定の程度に身體に疲勞素が蓄積すると、睡眠によつて外界の刺戟をさけて

不隨意神經の みの活動を殘して隨意神經の活動を停止する。そして睡眠中にこの不隨意神經の働きによつて疲勞素を除き、これを轉じて榮養素を構成し、或は消化管よりとり入れた物質を榮養物として蓄積する。又睡眠中には腹腔内の血管は一般に擴張し、大腦内の血液は減少してこの作用をたすける。これ等の作用は不隨意神經系統（交感神經及び迷走神經）の中で迷走神經が主なる役割をなしてゐる。即ちこの神經は睡眠並に榮養物を身體に蓄積する事に特別の關係ある神經である。

以上の事柄を わきまへたならば、安眠といふ事と食餌といふ事に就て簡單に説明する事が出來る。古來經驗上『腹の皮が張ると眼の皮がたるむ』といはれる事實は全くその通りであつて、子供は夕食時になると日中の疲れが加はるのと、食餌が胃の中に入つて消化吸收に關係ある迷走神經の緊張が強くなり、消化吸收の必要に應じて腹腔内の血管も擴張し、腦の血管が細くなる爲に身體に滿樂感が強くなつて「ねむけ」を催してくるのである。

この事は成人に於ても同様であるが、大人では食後に倚すぐに活動を停止するわけにはゆかない事情と、更に子供より敏感な爲に滿腹といふ事が睡眠に對して刺戟が強すぎて睡眠を催すには通常の食餌は多すぎる。その上成人は安眠する爲には少しの刺戟や不快感に熟睡を妨げられるだけ敏感である。消化と言ふ事に對する身體の中の努力は、安眠を起す平和の平衡を破る事になり從つて不消化物をとるといふ事も一層この不快感を増加する傾向がある。

次に空腹時 に食物を得たいといふ觀念、或は反射が起るため迷走神經の緊張が高まると共に、原始時代の人間生活における如く攻撃的觀念が加はつて、交感神經の緊張も高まるのであるから安眠には不都合であり同時に腦の血管にも血液量が増し安眠を妨げるやうな結果になるのである。從つて輕度の食時をとつた時の方が安眠に對して都合が良くなつてくるのである。元來睡眠と迷走神經の緊張並に消化と迷走神經の働きといふものは同じ意味で

睡眠の方向 に働いて行くのであるが、迷走神經の緊張が高くなり腦血管に貧血を起し、腹腔に血液が集つた狀態が安眠をもたらすに都合がよいのである。この狀態をもち來すには、成人に於ても飢餓時よりも少量の輕い食物をとつてゐた方が安眠に好都合なわけである。たゞしコーヒーはカフェインの作用により、玉子は分解して出來たところのアミノサンなる物質が精神を興奮させるから、安眠には不都合であるといふことは、一般に經驗されてゐる常識的事項である。

健康相談

月經不順と帶下

（問）二十才の娘で御座居ますが、十五、六才頃より帶下があり此頃ひどくなつたやうでスパッイ悪臭があり月經も調でなく、月經の前後が特に多く出ますが、家庭療法が御座居ましたら御教示下さいませ。病院に通はなくてはならない事でしたら日數費用を御教へ下さい。倚勞働等いたしてをりますがさしつかへないでせうか。（久子）

（答）御質問の様によりまして子宮内膜の疾患が想像されます。勿論該疾患でも家庭療法がない事はありませんが、一度診察した上でなければ如何なる程度の治療を必要とするか返答出來かねます。通院するにしても診察した上でなければ日數治療費等教示出來ません。兎に角一度專門醫の診療を受けねばなりません。（回答者 新京特別市中央通保健所産婦人科部長 醫學博士 成松清品）

けふの番組

〔新京放送局 M・T・C・Y〕廿六日 土曜日

ラヂオ

朝

七、〇〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
七、二〇 ニュース
七、二五（大連）中等滿洲語講座 幸勉
七、五〇 朝の音樂 一、シネマオルガン時計屋の店 二、ギター（イ）グラナデイアス（ロ）ファルッカ 三、フルート（イ）アルルの女のメヌエット（ロ）ヴェニスの謝肉祭 四、チエロ カプリチオ 五、四重奏 郭公ワルツ
八、二〇 氣象通報
八、五〇 建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
一〇、〇〇（大連）家庭講座 自宅で作れる玩具の話 末永宗一

晝

一〇、二五（奉天）料理獻立
一〇、三五（奉天）家庭メモ
一〇、四〇（大・新）經濟市況
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（牡丹江）晝の演藝 映畫物語 呪ひの窓 島田玲花
引續き講談社提供キングレコード流行歌（イ）南支那海より 鹽まさる（ロ）航行遮斷 永田絃次郎
一、三〇（東・新）ニュース
三、〇〇（大・新）經濟市況
四、〇〇（東京）ニュース
四、四〇 氣象通報・ニュース 經濟市況
五、二〇 ニュース「鮮語」
五、三五（奉天）演藝「鮮語」

夜

六、〇〇 子供の時間＝新京大同大街中央銀行より中繼＝ラヂオ見學 中央銀行
六、二〇（大連）アナウンサー 荒井正道 コドモの新聞
六、二五（齊々哈爾）
七、〇〇（東京）ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇 講演 滿洲國の印象と來滿の使命 中華民國維新政府外交部參事官 劉家倫
七、四〇 長期建設講座（三）長期建設と滿洲移民 滿拓經營部長 中村孝太郎
八、一〇（大阪）物語詩曲 一、三羽鳥 西條八十作詞 橋本國彦作曲 獨唱 四家文子 合唱 大阪放送合唱團 伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 深井史郎
二、しぐれ 城左門作詞 久本玄智・深井史郎作曲 獨唱 松田トシ 合唱 大阪放送合唱團 箏 久本玄智 尺八 星田一山 伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 深井史郎
八、四〇（大連）（イ）荒城の月（ロ）美しき天然 柴笛獨奏 出田經男
八、四五（大連）長唄 鞍馬山 唄 東誠之助 三味線 東愛子 上調子 杵屋六三壽
九、〇五（東京）浪花節 寛政曾我宮津の夜嵐 末廣友若
九、三九（東京）時報・ニュース解説
一〇、三〇 氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、四〇（哈爾濱）ニュース再放送 北滿の時間

ふるさとだより

沖繩縣の優生運動 沖繩縣島尻郡眞和志村字仲井間は戸數五十餘戸の部落であるが不思議にも男子は短軀者ばかり、壯丁檢査に甲種合格した者は今までに僅か三名、今次事變で出征したものはタッタ一名、これは近親結婚により今では全部落が親類同士となつたゝめである、全部落では今次事變でいよいよ肩身が狹くなつたので斷然更生を誓ひ今後は近親結婚を嚴禁することゝなつた（那覇發）

石川縣の花嫁兵舍 石川縣では移民の長期性を確保するため大陸花嫁の養成にかゝり、過般再度の花嫁學校を開催したところ頗る好評を博したので、移民事業の將來性に着目し「女子移民訓練所」の建設を目論み「日の丸兵舍」を建設して農村婦女子を入所せしめ、移民花嫁の訓練を施す計畫である（金澤發）

銃後の熱誠金鵄寮 去る九月大阪港區八條通二丁目に地鎭祭を執行、大工さんも左官さんも熱と感謝の眞心こめて仕事に勵んだ甲斐あつてこのほど勇士遺家族のためのアパート「金鵄寮」が完成したので二十五、六日頃には「金鵄寮」の門標も輝しく銃後の熱誠の發露として、全國で最初の輝かしい落成式をあげ十二月一日一齊に遺家族を迎へるはこびとなつた（大阪發）

日本一の化け蜜柑 和歌山縣那賀郡麻生津村の篤農家籔下磯市氏方でいま取入れ中の柑橘園でこの程、まはりがなんと一尺五分、重さも九十匁と云ふ日本一大溫州蜜柑が枝もたわゝに十數個鈴なりの壯觀が發見された、このお化け蜜柑の樹は大體二十數年の樹齢であるが「芽狀變異」を起して果實が年々知らぬ間に肥りだしとうとうこんな夏蜜柑程の大きさになつたものださうだ（和歌山發）

主婦之友（十二月號）

主婦之友十二月號、先づ眼を引かれるものは下村海南博士芳澤謙吉元外相、松井七夫陸軍中將、八角三郎海軍中將の錚々たる顔ぶれによる「漢口陷落後どうなるか座談會」である。空虛な抽象的な時局論とは違つて、家庭の立場から長期建設の首途に際しての銃後婦人の覺悟を解り易く說き同時に日常生活の指針を明らかに訓へてゐる。一讀思はず泣かされるのは故得猪中佐母堂司會の「愛兒二人づゝを國に捧げた母達の感涙座談會」だ、斷腸の言々句々これを讀んで泣かないものはあるまい評判の新篇「路傍の石」も「新肉彈」も愈々佳境に入つて一段と迫力を加へた感が深い附錄として專賣特許の値打物全集と銘打つた「新型防寒物の作り方百種」があり、また「生活費三割切下げ家計の秘訣」が呼物として發表されてゐる。特價は六十錢（送料七錢五厘）東京市神田區駿河臺主婦之友社發行

主婦之友社の二千圓懸賞

主婦之友社が一等二千圓の懸賞で募集中であつた「子供を中心とした讀物」は、どんな傑作が生れるかと、各方面から多大の興味をもつて注視されてゐたが、「主婦之友」十二月號にその結果が發表された一等入選作「幼き者の旗」は目下北支○○の前線に在つて活躍中の陸軍々曹氏原大作氏の作品で、しかもこれは同軍曹が家郷の妻子から來た手紙を骨子として、○○滯陣中に寸暇を偸んで執筆投稿したといふ熱誠溢るゝ傑作の由だ。選者の一人小島政二郎氏などは、「讀みながら幾度泣いたか判らぬ」と告白されてゐるほどである。火野軍曹の「麥と兵隊」を現地報告の書とすれば、これこそ現地と銃後とをしつかりと繋ぐ事變最初の渾然たる一大國民文學と言ふべきである。なほ本篇は新年號より堂々「主婦之友」誌上に連載される豫定である。

學藝

渡滿日程（8）

河利致

四、その最後

『雨が降りだしたから、體操は中止だ。今日は何の話をしてみようか。』

彼は雨の日には、いつものやうに『お話』をすることにした。

生徒たちは、雨空になつてくると教員室に飛び込んで、『今日の體操はお話の方がいいなあ。』と彼に注文してゐた。空の樣子をうかがつた後彼は一粒の雨が舞つてきても『宜しい。お話にしよう。』と生徒だちを喜ばせた。而し途中から雨になつてくるやうな時には『裸になれ』と命じて』自分から先にサルマタ一ツとなつて、元氣のいい體操を、たとへ矢を衝くやうなはげしい雨にならうとも、そんなことには一向頓着なしに、體操を續けて行く、といふことにしてゐた。

生徒たちは、雨の中の體操も好きであつた。赤、白の帽子取りの時などは、雨粒も、汗の玉となつて生徒たちの全身から、轉がり落ちた。女生徒たちは、裁縫室の窓から、キヤ、キヤツと言つて笑つた。

生徒たちは、體操も、お話も共に好きであつた。先生のすることには何一つとして、不服や、不平を持たなかつたけれども、率直に言ふと、雨の中の體操よりかも室內のお話の方が生徒たちは好きであつた。

『では、お話を始めよう。』

『森の石松がいいなあ。』

三好君の希望は？』

『小松君は？』

『忠臣藏がいい』

『吉田君は？』

『孝子辻占、ほれ、あの乃木將軍の。』

『高澤君は？』

『猿飛佐助がいい。』

『佐助の忍術使ひか。ハッハッ……』

彼は猿飛佐助の話をつて聞いて思はず吹きだしてしまつた。生徒たちも、同時に、ハッ、ハッ、ハッと笑つてしまつた。

『注文が澤山あるので、今日は一ッ童話集を讀むことにしよう。佐助は暫くお預けだ。』

『童話、いいなあ、おい高澤！　佐助なんか聞きたかねえ。』

『俺も童話がいいよ。』

『何あんだ。佐助のくせに。』

生徒たちは、かう言ひ合つた後、水鼻をすゝり込んで緊張した。彼は『小鳥の家』と言ふ、吉田絃二郎童話集を開けて『臆病な英雄』『上等兵と白犬』『駿馬いづこ』『幸福な地平線』と、次々にしんみりと讀んでやつた。生徒たちは熱心に、カタンと音一つさせないで、終りまで耳を澄ましてきいた。

『よかつたなあ。』

生徒たちは、彼の讀み終るのと一緒に、よかつた、とパチ、パチ手を叩いた。

生徒たちは。『俺等の先生は一番だよ』と他のクラスの生徒たちに對つて、先生のいい話を鼻高々と語つた。他のクラスの者たちは『來年は俺達の先生になるんだつてよ』と負けずに語つた。

彼は、どのクラスの生徒たちからも、『いい先生だなあ』と愛敬され、思慕された。彼の母は、この評判を耳にする度に『父のお蔭だよ。』と彼に、嬉し淚を落し乍ら言ふた。彼は、先生仲間からも尊敬されたし、村の人々からも崇められた。

先生二ヶ月ばかりの間に、彼は、自分乍ら不思議位に思ふ程、生徒に親しみ、生徒に馴染むことができた。尙不思議に考へられたのは、前科者呼ばはりされた自分が、一ヶ年と經たぬ中に、まるで別人のやうに、生れ變つたことであつた。

彼にしては『みんな生徒のお蔭である』と心の中に感謝しないではをられなかつた。

夏休みが來、そして次に、九月の二學期が訪れた。

新年文藝懸賞募集

滿洲文化の問題に對する關心が最近ほど昂まつたことはない。滿洲に於ける文學の創造に對する意慾が最近ほど昂まつたことはない。創刊以來學藝のために努めることを怠らなかつた本社はこゝに恒例により新年文藝を募集するがその意圖するところは近時の文化問題昂揚の中に、淸新な力に滿ち望むらくは滿洲の土、滿洲の社會に卽した作品を選んで推薦することにある。新人出でよ・大陸に伸び育つ文學現れよ。われらの期待に答へられよ。

規定

一、創作（小說、戲曲）四百字詰原稿紙二十五枚以內
一等　二十圓　一名
二等　十圓　二名
選外佳作　本紙三ヶ月分購讀券

一、詩（題隨意一人一篇）
一等　十圓　一名
二等　五圓　一名
三等　三圓　一名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

一、短歌（一人三首以內題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

一、俳句（一人三句以內題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

一、川柳（一人三句以內題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

選者

短歌は三井實雄氏、俳句は三木朱城氏、その他は本社編輯局選

注意

短歌、俳句、川柳はハガキを使用されたい、創作詩は原稿紙

送り先は「新京永樂町四ノ一新京日日新聞社編輯局」宛、なほ封筒表皮、ハガキは裏面に「新年文藝應募原稿」と朱書のこと

締切

昭和十三年十二月十五日

發表

昭和十四年一月一日本紙上、なほ賞金、購讀券は發表後一ヶ月をもて送附す

バクゲキ欄

自慰症の正體暴露

—佐々木勝造「秋の手紙」（『モダン滿洲』十一月號）—

その論文みたいなものでは、しきりに淸新な大陸の土に根ざした文學などと書くこの作者が、この一篇ではまさに少女雜誌文藝欄投稿家型の典型となり終つてゐるのは、まことに奇妙な風景ではある。

「秋の手紙」—この星菫派的表題からして土台甚だ舊時代的なのであるが、書かれてある內容と言へば、數年前に深い友情關係を持つてゐた女が新京に現はれて昔の男を見、男に宛てて思ひ出を書き綴つたその手紙なのである。今は白紙にかへつて元氣に生きてゐるとは言つてゐるが、本を持つて歩いてゐる男の後ろ姿を見て懷古的になつたりしてゐるそんな風な女でしかないのである。これは一體彼の平素のしかつめらしい物の言ひ振りと何と背馳した作品であることか。でも思へばこれが彼の本質なのでもあらう。そして、それは現實生活に於いて持ち得なかつたものを、僅かに作品の上に書き現はして喜んでゐる自慰症の病態暴露ではないか。それをしもロマンチシズムなどと言つてゐるのなら、とんでもないマスターベイションである。（御垣衛士）

哀れないのち

櫻子作　T・K譯

まつ赤な血が
吹き出す—
私はそれを心の躍だと思ふ

×

綠濃い樹葉
それを透して愁はしげな顏
私はその滋味をかみしめる

×

早朝の風が頭をすつきりさす
深々と呼吸をする
無聊な寂しい街を眺めやる

×

私の哀れな寂しい心よ
それは人から棄で去られた心だ
いつまで暗路をさまよふ

×

寂しさからいつまでも離れられぬ
悲哀は私の魂をとりまいてゐる
私は哭く、淚つきるまで哭く

×

一軒の親戚の家に居候して
飼はれ馴らされた老猫のやうに
いつまでも机の下に伏してゐる

短篇　新京銀座（上）

新井翠苔

走り出さうとしてゐる二號線のバスに、村木が乘り込むと、會社のタイピストの廣瀨トキが腰かけてゐて、

「ヤア。」

と聲をかけると、トキは此處へ坐りなさいと、自分のすぐ脇の席を眼で知らせた。並んで腰かけてから、

「何處へ行くんだい？」

と村木は訊ねた。二號線のバスの行先は、トキの家と反對の方角だからだ。

「銀座まで。」

「へエ。」

新京へ來たての頃、誰もが新京銀座の事を、唯、銀座と云ふのが村木には妙でならなかつた。（新京銀座は何處迄も新京銀座ぢやないか、たゞ銀座と云へば東京の銀座の事になつてしまふ。）その當時村木はさういふ信條を盾にとつて、微動だもしないかの樣であつたが、土地の水に馴れるに從つて、その信條はガラガラ崩れて、この頃では、村木自身が、（銀座へ行つてお茶を飮まう。）などゝいふ言葉を、何の苦もなく云つてのけるのであつた。

トキと一緒に降りるのは、少々ばかり照れ臭さかつたが何時も降りる吉野町の停留場へバスが止まると、わざわざ新京驛まで乘り越して後戻りするのも業腹で、トキを先に降ろしてから村木も續いて降りた。

「銀座の何處へ行くんだい？」

「本を買ふの。一緒に來ない？」

さう云つて、トキはオーバーの衿を立てゝ、スタスタと村木の先にたつて、軍裝品や釣道具や文房具等と一緒に書籍を賣つてゐる店のドアを押した。村木が雜誌を見てゐる間に、トキは文庫本の並べてある棚の前へ行つて五六册引き出して見てゐたが、やがて女店員を呼んで一册の本を包ませた。

そこを出ると、村木は別れて下宿へ歸る氣になつて、それが村木の惡い癖の、むかしゲリー、クーパーなどが映畫でよくやつて見せた二本指でする失敬ッをトキに投げつけようとすると、トキはその間を與へず。

「サッ、お茶をおごつたげるからいらつしやい。」

とばかりに、明治製菓の賣店へ這入り、急な階段を先にたつてどんどん上つて行く。隅の卓子に二人向ひ合つて腰かけると、

「なんだか熱いわ。オーバー脫がうかしら。あたし、アイスクリーム。村木さんは？」

と妙に浮ついた上機嫌さなので、村木は、會社でのトキの自分に對する何時もの素振りと睨み合せて、小柄ではあるが脂肪質のぼつてりとしたトキの肉體の放つ情熱をまともに受け止めねばならぬ瞬間に到達する樣な事にでもなつたら、ヒョロ高いばかりで神經型に屬する村木の體軀が、よくそれから逃れ去るだけの強靱さを持ち得るか如何か、尠なからぬ不安を犇犇と身に感じながら、トキの問ひには答へず、

「本、何を買つたの？」

「クラウニゼヴイッツの『戰爭論』。」

「へエ……。」

村木は喫驚して、この頃の女の子の奇妙な讀書癖の一端に觸れた思ひで、こんな時には珈琲だのコ、アなどの刺戟性の飮み物は飽く迄も避けねばなるまいと、

「僕は紅茶にする。」

と、トキに向つて答へた。

吉林の或る山　滿洲を觀に來た林房雄と小林秀雄の兩君、吉林へ行つてダムの大工事を見たが技術の事は判らんのでさして驚きもせぬ▼しかしあそこに働いてゐる苦力たちがたれ殘した巨大なる人糞の山にはびつくりおつたまげた由▼さすが文人だけに眼のつけ所が違ふと好評嘖々たるものがあるといふ話

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御寄附相成度し（係）

△宣撫月報（十一月號）高橋源三「宣傳に於ける虛僞と眞實」津久井龍雄「東洋人的良心と宣傳的使命」菅沼不二男「今日の宣傳問題に就て」其の他調査資料（總務廳弘報處）

△滿洲物價勞銀調（九月號）（中銀調査課）

△北支鐵道スタンプ集（滿鐵北支事務局）

△斯民（十一月十五日號）滿ソ創立、廣東武漢陷落が特輯となつてゐる（新京中央通、滿洲國通信社、一部三分）

△月刊滿洲（十一月號）森田久「ペンの慶兵」一記者「片倉中佐縱橫談」邱隆三「東邊道と開發會社」米良晃「協和會全國聯合協議會評」木部三太「北支で會つた滿洲關係の人々」「苦力の生活を訊く座談會」等豐富な內容である（新京崇智胡同六〇一、月刊滿洲社四十錢）

眼藥は大學!

流線型容器

一滴もダムにボコれぬ
一滴づつさせる點眼器

治療と強化に

痛ます・シマズ・心地よくきく

大學眼藥

（大學特得・紫外線防止藥 特許製劑ウルビオレギン配劑）

大學は一劑で三つの効果

本邦唯一近代優秀眼科藥

1 眼病を治す
2 目を強く美しくする
3 紫外線の害を防ぐ

大學眼藥は最新の眼科醫學に基き強力な殺菌・防腐・收斂作用を有するために病菌を殺滅し炎症充血を快く去り創面を整へる等治癒効力著しく、また健眼の場合でも大學眼藥を毎朝用ふれば砂塵煤煙等より受ける障害を防ぎ仕事や讀書の目疲れを治し　眼病豫防と視力の强化と美眼工作と一石三鳥の効果を上げ得ます

—適應症—

結膜炎　角膜炎　麥粒腫　ほし目　疲り目　疲れ目　血目　雪目　光線眼炎　トラホーム　やに目　打ち目　はやり目　なみだ目　たゞれ目　かすみ目

定價

ケースなし	
小瓶	二十錢
中瓶	三十錢
德用	五十錢
小兒用	二十錢

入造鼈甲 ケース付	
一瓶入	三十錢
二瓶入	五十錢（ケースは一個）
補充用特大瓶付（〃）	一圓

大學洗眼藥	
十錠	十錢
廿一錠	二十錢

大阪北濱 参天堂株式會社

新發賣

大學十錢家庭藥

どれでも一個―正價十錢

大衆生活に於ける大なる脅威は、病氣の醫療費乃至藥價の過重なる負擔である。今日、國民の體位向上、或は醫療國策の聲澎湃として起る時、我社は率先、大衆醫療費の大輕減を目指し、實に從來藥價の半値にも當らざる超廉價を以て「大學十錢家庭藥」を發賣す

先づ手にとつて見られよ!「確かに安い」と領かるべし　更に用ひて効果を見られよ!一層その安さをハツキリと知らるべし

藥はかく安くなければならぬ

こんなにヨクきく藥が

ナゼ安い?

1 藥學博士大谷文明氏始め多數學徒の周密なる研究に基き
2 科學的生產設備と最新の機械能力を發揮する大工場により
3 合理化せる大量生產と統制配給による經費の節減!
4 これらの綜合結晶と醫療費低減の意圖による最低價であります

病氣に應じて二十種アリ

●お腹の病氣には 大學胃散 大學胃腸錠 大學下痢劑 大學下痢止
●虫下しには 大學驅虫錠
●痛み止めには 大學頭痛錠 大學歯痛錠 大學腹痛錠
●かぜ引きには 大學感冒錠 大學せき止
●懐中藥には 大學清凉劑
●外用藥には 大學皮膚藥 大學外傷藥 大學痔疾膏 大學水虫液 大學メンソールクリーム
●婦人の病氣には 大學婦人藥 大學奇應丸
●子供の病氣には 大學小兒かぜ藥 大學小兒せき止シロツプ

タッタ十錢 市價の半値

大阪北濱 大學眼藥本舗
發賣元 参天堂株式會社

歳末商戰愈よ進擊開始
大賣出し景品も今年は儲蓄債券
大いに時局色を盛り込んで 商店街、俄然張切る

早くから計畫された商店街御自慢の歳末聯合大賣出しもさていよ／＼實行に移らうとして當局へ許可方願出た所、時局柄研究の必要あり一寸待てと思はぬ暗礁に乗上げ、すつたもんだの擧句どうやら御手盛りの計畫も相當あちらこちら改められて許可され、ほつと一息漸く商店街も歳末への進軍を開始した、先づ新年の晴着をと呉服洋服商がトップを切つて十二月一日より賣出しを開始するが、景品の變つた所は一等商品券一千圓が興銀儲蓄債券額面一千圓となつて將來のお樂しみに變りそれに債券の時價は額面の半額のことゝて商店側は半分の負擔となるので一等一本が二本に增加され、以下二等から六等まで何れも儲蓄債券で本數が最初の計畫の二倍になつてゐる、それに最初の計畫では七等から十一等まで續き空籤が相當あつたが、これはいかんとあつて七等以下が廢止され殘り全部が等外となつて共通商品券十錢の景品が付く、結局買上金五圓で景品券一枚付くから五圓で最小限度十錢は必ず戻つて來る譯である、尚買上金一圓毎に景品補助券一枚が付き五枚で景品券一枚と引換へられることになつてゐて、景品總額は次の如くである（等外を除く外何れも儲蓄債券額面）

一等一千圓（二本）二等五十圓（四本）三等三百圓（四本）三等二百圓（六本）四等一百圓（八本）五等五十圓（二十本）六等二十圓（八十本）等外十錢（四萬九千八百七十六本）

一方滿人側の新京貿易組合でも負けられぬと十二月五日から賣出しを開始するがこちらの方は實利的な景品である

一等興銀儲蓄債券額面二十圓（六百本）二等服地時價約三圓五十錢（千八百本）三等石鹸時價十錢（八萬七千六百本）

本年度入營兵の奉告祭と壯行會
來月初旬 市民總動員で

支那事變下新たなる皇國の護りにつく本年度入營兵の入營は十二月十日頃より開始せられるが新京特別市公署ではこれらの入營兵に對し十二月初旬奉告祭、壯行會を擧行、市民總動員で入營勇士を激勵することゝなり二十九日午後二時より市公署會議室で關係各機關と第一回打合せ會を開催することゝなつたが時局柄嚴肅に意義深く熱誠こもつた行事を行ふ方針である

釣錢拔取りの怪外人

吉林警察廳では十九日以來市內商店街に怪しげな外人が現はれ奇術もどきの獨特の手を用ひては賣溜を持ち去る怪事件が諸所に發生、しかも被害は怪人が立去つた後でなければ發見出來ぬと云ふ奇怪極まるもので外事係は勿論司法科總動員でこの怪犯人を逮捕せんと躍起になつてゐる、被害者は河南街東海天金屬店、和興隆百貨店、朴商會、松屋呉服店等の一流店で手口は百圓紙幣を以て若干の買物をしては言葉のわからぬことを利用して釣錢が汚れてると難をつけ有錢を出させてその內から奇麗なのを撰拔くうちに幾枚かの紙幣を見事拔取つて仕舞ふと云ふ妙な藝當で判明した被害だけでも二百圓以上に達してゐる、犯人はジプシー系のロシヤ人で以前は奇術師ではないかと見られ昨年も一度吉林に現はれ滿人街を荒し廻つた事件と同一手口であるところから奉天、新京、哈爾濱等を根城とする怪盜と推定し各主要都市と連絡、完全な手配をすることになつた

揚る排共陣營の凱歌（きのふ大會の盛觀）

日獨伊の固き／＼防共の握手を慶祝し、更に來るべき時艱克服の覺悟を新らたにする協和會主催排共大會は二十五日午後一時半より協和會館で盛大に擧行され擊滅共產の嵐は全滿を吹きまくり、午後三時各國使臣を網羅する交驩會を意義深く終了した【寫眞は大會全景、張會長の挨拶、獨伊各外國使臣の參會】

本溪湖煤鐵公司 滿業傘下に入る
大倉側の襟度により懸案解決

滿洲國政府では滿業と本溪湖煤鐵公司との調整に關し國策の一般方針と大倉側の諸計畫を考慮して大倉側と折衝中のところ、今回大倉側の大乘的態度により順次會社の增資に際して本溪湖及び滿業の持株を等額として更に政府が若干の比率に株式を所有することに根本的方針を決定しこゝに滿業創立以來の一大懸案たりし本溪湖煤鐵公司は滿業の傘下に入ることゝなり表面的に解決をみるに至つた

すなはち滿業と本溪湖煤鐵公司との關係は滿業が滿洲國に於ける重工業の綜合的開發をなすに決定せるに拘らず、大倉側は滿業の傘下に入らずとも滿洲國の國策五ヶ年計畫の遂行に支障を與へないと强硬に既得權益を主張して讓らず、過般大倉喜七郎男の來京の際も滿洲國並に滿業の主張は容れられず、感情的にも對立的情勢となつてゐた

政府としては滿洲國の鑛業に重要部門を占むる本溪湖煤鐵公司を滿業の傘下に參加させざる場合に於いては、滿業當面の重要目的たる外資導入にも支障を來たし、滿業解體論の巷說に拍車をかける結果ともなるので、これが解決を急ぎ過般來大倉側と折衝し政府の方針、滿業設立の根本趣旨に反せざる限り充分大倉系企業の積極的振興を企圖し、重役職員の地位等に變動を與へざる等を條件として本溪湖滿業の株式等額し、これを政府が若干所有してキャスチングボートを握ることになつたものである、現在の本溪湖煤鐵公司の株式は六對四で大倉株が過半數を所有してゐるが、近く行はれる增資の機會にこれを實施せんとするものでこれがため評價委員會の設立その他適當の方途を講ずることになつてゐる

滿洲國政府談

右に伴ふ滿洲國政府當局談は左の通りである

滿洲國成立に伴ひ本溪湖煤鐵公司との調整に關しては滿洲に於ける鐵國策一般方針と大倉側在來の企業に對する甚大なる功績並に將來の抱負等とを勘案し過般來大倉側と折衝中の處今回大倉側の大乘的襟度に依り順次會社の增資實行の機會に於て本溪湖及び滿業各等額並に滿洲國政府若干の比率に株式所有を變更せしむることゝし尚之が爲評價委員會の設定其他適正の方途を講じ亦滿洲に於ける鐵國策の一般方針及滿業設立の根本趣旨に反せざる限り充分大倉系企業の積極的振興を企圖し重役職員の地位等に變動を與へざる等圓滿なる解決案に一致の了解を見るに到り今後之に對する措置を講ずる事になりたるは滿洲に於ける重工業發達の爲劃期的一飛躍の段階に達せるものと謂ふべく日滿兩國の爲慶賀に堪へざる所なり

四十八人乘り大型バス 來月早々着く

市民の足としての使命達成に奔走してゐる新京交通會社が嚴寒時利用者激增の期を控へ乘客大量輸送の圓滑をはかり利用者の不便を除去すべくかねて大連に註文して組立を急ぎつゝあつた待望の超大型キャップオーバー車四十八人乘り五台が愈よこの程完成し遲くも來月四、五日頃には新京に到着直ちに市民へのサービスに當ることゝなつた、これで寒風膚を刺す街頭に呆然と立ち待つ時間も縮少し不便が餘程緩和されるものと期待されてゐる

うろつくでない 收容所に入れ
街の浮浪の群れ一掃

年末に於ける防犯の完璧を期して首都警察廳司法科防犯股では保安科と連絡目下全市に亘つて國都の街を汚す浮浪者狩りを實施、檢束の浮浪者は市立宏濟院（元救濟院）及び戒煙所に收容しつゝあるが今日まで浮浪者狩りは幾度か實施されて來たのにも拘らず眞夏の蠅の如く追へど拂へどまたしても巷の隅々に姿を現はしその根絶は困難とされ常に當局の惱みの種となつてゐたかうした過去に於ける浮浪者狩りの不徹底は一つに浮浪者を收容する機關の整備されなかつたことによるものであつた、然るに最近彼等を收容する宏濟院及び戒煙所の整備充實を見たので當局では今後國都の街に一人の浮浪者の姿をも見ないやうにと發見次第檢束これが徹底的根絶に乘り出すことゝなつた

張司法部大臣 日本視察終へ歸京

日本の司法制度を視察中だつた張司法部大臣は隨行の山口哈爾濱高等法院次長、錦州地方檢察廳長、木村秘書官等と共に廿五日午後五時廿分着あじあで一ヶ月振りで歸京、夫人、令孃はじめ及川次長、林最高法院長、李最高檢察廳長その他司法關係者多數の出迎へを受けて東朝陽胡同の公館に入つたが、日本視察の感想を次のやうに語つた

□　□

新京から東京まで飛行機で行つた、東京に着いた十月廿七日は丁度武漢三鎭が陷落した日で東京市內は興奮で渦巻いてゐた、その時私の胸を强く打つたものは武漢三鎭陷落のニュースが傳はると同時に東京市民が期せずして宮城前に參集し、萬歲を絕叫しながら遙拜してゐたことである

歡喜と

これは他國では見られぬ風景でこれこそ皇室中心主義の現はれだと考へた、その翌日の廿八日に畏くも天皇陛下に拜謁を仰付けられ有難き御言葉を賜つたが外臣として武漢三鎭陷落の御祝詞を申上げたのは不肖私が一番ではなかつたかと思ひ光榮に感激してゐる次第である、司法制度は滿洲日本とも大同小異であるが設備の點では到底わが國などその足下にも及ばない程日本は發達してゐる、財政の關係上早速日本の設備にまで追ひつくことはなかなか至難なことだが、しかし司法精神の點は具さに觀察して來てゐるからこの方面は早速わが司法界に移して範としたいと考へてゐる、幸ひ

わが國

には日本の優秀な司法官が澤山來てゐるから日本の司法精神をわが司法界に發揚することは容易な事と思ふ、日本を全體的に觀て私を最も感心させたことは戰時下に在る日本が非常に落着いてゐるといふことであつた、最初新京へ出發する時は內地へ行つたら慌しい感じを受けるだらうと豫想してゐたのであつたが、行つてみてこの豫想は完全に裏切られた、「動中靜」といつた感じで全く磐石の如き靜寂さであつた、大國の襟度とその綽々たる餘裕をひしひしと全身に感じ、今後日支事變が何年續かふと日本の國力はビクともするものでないと確信させられた旅程は東京から西へ引返し名古屋、大阪、京都、廣島長崎、福岡等を廻つて歸つて來た譯だが途中伊勢大廟と畝傍山陵、橿原神宮等に參拜をすませ橿原神宮では私の郷里へ神武天皇を御祭神とする神社を創建するため御分靈を拜戴した

御分靈

は同行した奉天神社の山內神官が一足先に拜戴して奉天へ歸り、現在奉天神社に奉安してあるが近く撫順縣新屯の私の郷里へ奉遷して遷座式を擧行することになつてゐる、これは悠遠無窮の日本の國礎を築き給ふた神武天皇の御仁德を欽仰し奉ると共に御鴻業の御理想を體して滿洲國建設の大理想とする私の考へからだ、この神社は新屯神社と命名されるが目下建築も竣工し、いまは遷座式を待つばかりになつてゐる

長女忌日に國防獻金 龜岡末松氏

市內入船町三丁目二十一番地農商龜岡末松氏は先に長女榮子さんを亡ひ、二十五日が七七日忌明に相當するので、それ／＼追善供養を行つたが、時局柄聊かでもお國のためにと金百圓を國防獻金として本社に寄託あり直ちに所定の手續をなした

美育作品展覽會

新京日本小學校教育研究會美術部及び新京美育協會の秋季作品展覽會は來る二十七日から三日間寶山百貨店五階ギャラリーで開催される、出品點數六十點

いつもの御禮に 私達の隱藝を
あす白衣の勇士演藝會

"何時も銃後の皆様に御慰問ばかりして貰つて非常に感謝致してゐます、今度は私達が皆様に拙い藝を見て頂きます"と新京陸軍病院では二十七日の日曜日昨年獻納を受けた娛樂室の滿一ヶ年を記念して展覽會及び演藝會を開催することになつた、展覽會は午後一時より二時三十分迄二階講堂と病室の一部を開放して過去一ヶ年の傷病將兵の作品や診療業務の足跡、參考資料等を展覽する、演藝會は引續き午後二時三十分より娛樂室で傷病兵御自慢の浪曲、落語、歌謠曲、漫才、劇、手品等をダンスホール扇芳會館バンド特別出演の下に賑々はしく展開お客様の在京各部隊長、何時も御世話になる國防婦人會の小母さんや顏馴染みの慰問に來る市民達を喜ばせることゝしてゐる

劍道有段者選手權大會

滿洲帝國武道會新京支部主催第一回劍道全新京有段者選手權大會は二十七日午前九時より八島小學校に於て各段別に開催されるが申し込み四段八名、三段十八名、二段二十四名、初段二十四名の盛況で二十五日午後市公署に於て役員會を開き組合せを決定する

日本全國招魂社 護國神社と改稱

【東京國通】內務省神社局は二十五日午前九時半から內相官邸に神社制度調査特別委員會を開き淸水委員長以下各委員出席全國總數百三十に及ぶ招魂社を今後すべて護國神社と改稱、全國的に統一を圖ることゝなつた

スキー旅客の運賃を割引

吉林鐵道局旅客課では例年通り十二月一日よりスキー旅客のため運賃割引をすることになつたが、從來途中下車不能であつたのを本年は特に土們嶺、北山の各スキー地廻遊乘車券を發賣する筈である、割引運賃左の如し（往復）

△新京―土們嶺（個人二等三圓五十錢、三等二圓十錢、五人以上、二等三圓十錢、三等一圓九十錢）

△吉林―土們嶺（個人、二等二圓六十錢、三等一圓六十錢、五人以上、二等二圓三十錢、三等一圓四十錢）

△新京―吉林（個人、二等六圓二十錢、三等三圓七十錢五人以上、二等五圓四十錢三等三圓三十錢）

鮎川總裁東上

鮎川滿業總裁は岸本秘書を帶同二十六日飛行機で奉天に赴き一泊二十七日奉天飛行場發日滿連絡機で東上の筈

關屋副市長赴連

新京特別市副市長關屋悌藏氏は二十五日午後六時五十分の列車で赴連した二十九日頃歸任の豫定

訂正

廿六日附夕刊一面「國務院辭令」中「寺田喜治」とあるは「寺田喜治郎」の誤りにつき訂正

弘報處の岡田情報科長弘報要員會議以來仲々の張りきり方である何が彼をさうさせたか、その原因の一つは「弘報要員の歌」といふのをつくつてみんなに合唱させ大喝采を博したといふ事らしい▲爾來、合唱歌の功德を何かにつけては力說するのである、曰く「吉林のダムなんかでもね、ひとつ吉林大ダムの歌つてやつを作つてみんなでうたへばいゝんだ、東邊道だつて移民だつてこの手で行くのさ」―▼どうやら來年度滿洲國の宣傳は合唱歌の氾濫時代となりさう

けふの天氣 南西の風曇後晴
きのふの氣溫 最高零下三度八 最低零下一〇度九

若殿膝栗毛

(上演上映)　中川雨之助　竹孜一郎畫

(百八十五)

主従の縁

しかし彼は、切支丹の信仰者ではない。ただ、幕府を顚覆し、將軍家光の首を狙ふといふ、その手段に共鳴したのだ。

忠義一徹の五郎衛門は、主人大納言の横死は、家光のためだと信じ切つてゐる。しかもなほ飽き足らで、その子長七郎までを苦しめんとする將軍以下松平伊豆守一派に對して、燃ゆるが如き怨みを抱いてゐた。

そこへ、十左衛門の勧誘をうけたのは、渡りに船であつた。

で、今から約二十日前、江戸を引揚つて總へ來た彼、今は參謀格として、十左衛門の片腕となつて働いてゐるのであつた。

さうした行掛り上、彼は長七郎を說いて味方に引入れ、軍の總帥に戴くべく、その勧誘の役目を引受けてゐるのだつた。

長七郎が不圖氣が付くと、十左衛門の姿は、いつか座敷から消えて、五郎衛門と二人きり對向ひになつて居た。

そこで五郎衛門、茲を先途と、舌端火を吐くかとばかり、或は泣き、或は怒り、長七郎を說いたのであつた。

けれども、それは駄目だつた。

「予は、將軍にも幕府にも怨みは無い。予を謀叛人と疑はば疑へ、予の心は、常に光風霽月、風吹かば吹け、雨降らば降れぢや。その風に梳づられ、雨に沐し、身を一介の浪士に落し、氣散じの東海道膝栗毛は、けだしその心境を語るもの。爺よ、重ねて申すな」と、一蹴した長七郎の心は石よりも堅い。

それでは五郎衛門、取つく島が無かつた。

「では若殿、が、これほどお願ひ申し上げましても……」

「重ねて申すな」と長七郎に撥付けられても、なほ諦めかねて說

津五郎衛門老人、許くも勧誘するのだつた。

今は、その老顔に、苦衷の色さへ浮んで居る。

長七郎、心の中で「何といふ殊勝だ。爺も、耄碌し居つたなあ」と思つた。

そして、その愚直を憐れむやうに。

「爺よ。そちは彼の十左衛門とは莫逆の友だと申したの」

「はい」

「然らば、そちと、予は、どういふ關柄ぢや」

奇問に出逢つて、五郎衛門、眼を丸くした。

「これはまた、異なお尋ね。大納言様亡き後は、三世の末かけて御主君さまにござります」

「然らば訊ねるが、そちや、主従を尊しとするか。それとも友への義理を尊しとするか」

「あッ、その儀は……？」

五郎衛門、言句に窮して、平伏した。

「此上、強ひて申さば、主従の縁を絶つぞ！」

長七郎の一語、五郎衛門には、まさに青天の霹靂だつた。

彼は恐る〱顔を上げた。顔面蒼白、眼には涙を浮め。

「はツ、御勘氣……、何卒御容赦くださりませ。五郎衛門、この世に生のあらん限り、いや未來永劫御家來に相違ございません。老の一命差上げても苦しからず、謹んでお詫申上げます……」

忠義一徹の彼、主従の縁を絶たれることは一命を絶たれるより苦痛だつた。

が、若し長七郎が、一味の謀議に絶對加擔せぬといふことになると更にそれ以上の苦痛が迫つてゐるのである。

五郎衛門は、それを怖れた。